

【第 1 号議案】(報告事項)

令和 4 年度事業報告に関する件 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

I. 事業の状況

新型コロナウイルス感染症対策のため、本部、支部の多くの委員会・集會・行事がWEB開催となる中、9月のICAA18(The 18th International Conference on Aluminium Alloys:第 18 回アルミニウム合金国際会議)や 11 月の第 143 回秋期大会をハイブリッド開催し、懇親会も感染症対策を施して対面開催することができ、研究交流や意見交換が活発に行われた。

2051 年の 100 周年に向けた各常設委員会の課題、長期アクションプランを検討し、学会の課題、行動指針、ロードマップをまとめた 2050 年長期ビジョンを策定し、外部公開を準備した。また、軽金属学会の活動範囲(研究範囲)を学術(Science)中心から素材・製品に係る生産技術(Engineering)へ拡張するため、総合計画委員会では生産技術 WG を設置し、今後取り上げていくべき生産技術分野・課題をまとめた。生産技術に関連して、企画委員会では生産技術者向けのシンポジウムやセミナーなど交流企画を準備し、研究委員会では生産技術関連の研究部会や先行研究部会を設置した。この他、編集委員会では会誌「軽金属」への生産技術記事掲載を、大会運営委員会では春秋大会での生産技術セッション設置を検討し、生産技術者の会員入会、学会行事への参加を促す。

会員サービスの一環として、学会ホームページの会員マイページに令和 5 年 4 月から会誌「軽金属」の会報記事電子版掲載、6 月から過去のシンポジウム・セミナーテキスト、研究部会報告書電子版掲載開始の準備を行った。

[1]研究会、学術講演会等の開催(定款第 4 条第 1 項第 1 号)

1. 春秋講演大会の開催

1)第142回春期大会 新型コロナ感染症対策により、WEB開催とした。

会期	: 令和4年5月27-29日	
会場	: 大阪大学 吹田キャンパス	5月28-29日WEB開催
実行委員長	: 荒木秀樹(大阪大学)	
定時総会	: 令和4年5月27日	日本アルミニウム協会会議室にてWEB開催
研究発表講演	: 令和4年5月28-29日	WEB開催 147件発表
ポスターセッション	: 令和4年5月28日	WEB開催 55件発表(日本語54件、英語1件)
表彰式	: 令和4年5月27日	中止
懇親会	: 令和4年5月28日	中止 Zoom利用WEB開催 講演会: 大阪麦酒吹田村醸造所の誕生 大阪大学における大阪・関西万博への取組
機器・カタログ展示	: 令和4年5月28-29日	WEB開催 4社参加
軽金属企業研究会	: 令和4年5月28-29日	WEB開催 5社参加

2)第143回秋期大会 新型コロナ感染症対策により、ハイブリッド開催とした。

会期	: 令和5年11月11-13日	
会場	: 東京工業大学 大岡山キャンパス	
実行委員長	: 小林郁夫(東京工業大学)	
研究発表講演	: 令和4年11月12-13日	156件発表
ポスターセッション	: 令和4年11月12日	WEB開催 81件発表(日本語78件、英語3件)
表彰式	: 令和4年11月11日	
懇親会	: 令和4年11月12日(ホテル雅叙園東京)	
機器・カタログ展示	: 令和4年11月12-13日	5社参加

2. シンポジウム、セミナー等の開催

	名 称	開催令和年月日	開催場所	参加者数
1	第 123 回シンポジウム「金属 3D 造形の高精度化」	4 年 6 月 15 日	WEB 開催	26 名
2	第 124 回シンポジウム「衝撃工学の基礎と安全深化のための軽金属工業製品への応用」	4 年 6 月 28 日	WEB 開催	51 名
3	第 22 回軽金属国際ワークショップ	4 年 9 月 9 日	富山大学 ハイブリッド開催	122 名
4	軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」	4 年 11 月 24、25 日	つま恋リゾート彩の郷	39 名
5	国際連携を見据えたマグネシウム・チタン若手研究会	4 年 11 月 18 日	WEB 開催	76 名
6	第 32 回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織 — 入門編(状態図と組織)」第 12 回	4 年 12 月 16 日	WEB 開催	54 名
7	第 125 回シンポジウム「カーボンニュートラルに向けたアルミニウム溶解工程の効率化」	4 年 12 月 21 日	WEB 開催	83 名

8	第 126 回シンポジウム「軽金属研究のための分析・解析」	5 月 1 月 25 日	日本大学駿河台キャンパス、ハイブリッド開催	37 名
9	第 33 回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—中級編(時効析出)」第 11 回	5 年 1 月 27 日	WEB 開催	47 名
10	第 34 回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—応用編(加工・熱処理による組織変化)」第 9 回	5 年 2 月 17 日	WEB 開催	39 名
11	第 127 回シンポジウム「軽金属材料の高強度化の最前線」	5 年 3 月 27 日	貸会議室 内海	59 名

[2]国内外における研究協力・連携の推進(定款第 4 条第 1 項第 2 号)

1. 国際交流

1)ICAA(International Conference on Aluminium Alloys)18

9 月 4-8 日に富山国際会議場、ANA クラウンプラザホテル富山において、「Aluminium and its alloys for zero carbon society」をメインテーマとしてハイブリッド開催し、477 名(内オンライン参加 117 名)が参加した。観光庁の「ハイブリッド国際会議実証事業」に採択され、オンラインプラットフォームの利用や感染防止対策としての検温と消毒の徹底、抗原検査キットの配布、入国のためのビザ発給に対応したことで、海外参加者 174 名となり、内 91 名が現地参加した。講演発表 226 件(内海外 123 件)、オンラインポスター発表 50 件(内海外 14 件)は海外オンライン参加者の時差を考慮したスケジュールとした。懇親会にも 245 名が参加した。会期中に実施したエクスカーション・見学会では 9 月 4 日の立山山麓観光に 19 名、9 月 8 日の立山・室堂観光に 16 名、YKK 株式会社見学会に 8 名が参加した。ハイブリッド開催ではオンラインプラットフォームで、講演セッションの Zoom 配信視聴、1 ページアブストラクトや e ポスターの閲覧、ポスター発表の 3 分間スピーチ録画ビデオ視聴、展示ブースの録画ビデオ視聴などを可能とした。参加者の交流ツールとしても活用した。講演録画ビデオは 12 月末までオンデマンド配信し、参加者の講演見逃しに対応した。

2022 年 6 月 29 日 プログラム(at a glance)公開

2022 年 8 月 31 日 オンラインプラットフォーム公開

2022 年 9 月 4 日-8 日 ICAA18 開催

2023 年 2 月 1 日 Materials Transactions ICAA18 特集 電子版 発行

2)ALMA (Asian Light Metals Association) Forum 2022 & Meeting

令和 4 年 11 月 11 日-13 日に東京工業大学大岡山キャンパスにて開催された第 143 回秋期大会会期中にオンライン開催を検討したが、海外各国から対面開催の要請があり、2022 年は開催を取りやめ、2023 年の対面開催を決定した。

3)第22回軽金属国際ワークショップ

9 月 9 日に先進軽金属材料国際研究機構 富山大学先進アルミニウム国際研究センターの第 2 回 ILM インターナショナルセミナー「Microstructure and Properties of Aluminium Sheet」の共催行事として第 22 回軽金属国際ワークショップを開催した。ICAA18 参加のため来日したドイツの Jürgen R. Hirsch 教授が講演し、対面参加 44 名、オンライン参加 78 名、合計 122 名が参加した。

4)第23回軽金属国際ワークショップ

10 月 25 日-31 日に富山大学第 8 回先端材料研究フォーラムの共催行事として第 23 回軽金属国際ワークショップを開催した。国内外から 16 件のオンライン講演を実施。

2. 産学官の連携

参加会を 2 回開催計画したが、7 月 7 日の第 1 回株式会社 IHI の「つなぐラボ」、「IHI グループ横浜ラボ」見学会はコロナの影響で再度延期した。第 2 回は 11 月 24 日に大型放射光施設 SPring-8 見学会を開催した。高輝度光科学研究センター 八木直人博士の SPring-8、X 線自由電子レーザ施設 SACLA 紹介、九州大学 戸田裕之教授の「SPring-8 の 3D/4D イメージング技術とその応用」と兵庫県立大学 足立大樹教授の「SPring-8 放射光による軽金属材料の組織観察と機械的性質の解析」の講演、兵庫県立大学ニュースバル放射光施設 New SUBARU 見学後に意見交換を行った。また、昨年に続き、国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センターマルチマテリアル研究部門から研究開発事業に関する提言を求められ、カーボンニュートラルの切り口からの研究開発を要請した。

3. 日本アルミニウム協会との連携

日本アルミニウム協会主催により開催された産学懇談会に出席し、情報交換を行った。日本アルミニウム協会の研究助成事業の約 30 件の研究の大部分を講演大会で成果発表した。大学オープンキャンパスへの軽金属製品供与と事業にも参画いただき、子供向け学習教材「アルミなるほどミュージアム」冊子供与、自動車フード、エンジンシリンダブロックなど大型製品供与の協力を得た。この他、日本アルミニウム協会「アルミニウム技術戦略ロードマップ」2022 のテクニカルロードマップに軽金属学会「軽金属ロードマップ」のアルミニウム関連のサイエンスロードマップを掲載した。

4. 日本マグネシウム協会、日本チタン協会、軽金属溶接協会との連携

マグネシウム研究部会を継続し、日本マグネシウム協会メンバーの参画により研究連携を実施した。第 143 回秋期大会では「カルシウム添加型マグネシウム合金展伸材創製のための最新技術開発(難燃性マグネシウム合金展伸部材創製のための最新技術開発 11)」のテーマセッションを実施した。また、第 144 回春期大会では「グリーンイノベーション実現のためのダイカスト用難燃性マグネシウム合金の開発」のテーマセッションを開催予定。

日本チタン協会創立 70 周年記念大会・祝賀パーティーに参加した。

溶接・接合関連の若手研究者奨励のため、春期・秋期講演大会ポスター発表に軽金属溶接協会からの表彰を実施し、溶接関係研究発表の 7 名(春期大会 4 名、秋期大会 3 名)が表彰された。

5. 他学術団体、業界団体との連携

日本学術会議材料工学連絡委員会、日本工学会等と連携を保つとともに、日本金属学会、日本鋳造工学会、日本鉄鋼協会、日本塑性加工学会、日本材料学会、日本チタン学会など、他学協会との研究発表、シンポジウムの共催、協賛、後援などの協力を積極的に行った。日本金属学会、日本鉄鋼協会とはWEB開催された「中高生夏の学校 2022」において、「サイエンスアドベンチャー I」(実験・実習)に参加し、女子中高生に「アルミ合金の魅力」を紹介した。

[3]学会誌、学術図書等の刊行(定款第4条第1項第3号)

1. 会誌「軽金属」等の編集発行

本年度は、第72巻4-12号、第73巻1-3号までの12冊を、うち、第72巻5,6号は「軽金属材料の三次元造形技術」特集号、第72巻11号は「アルミニウム溶解炉に用いられる耐火物の技術動向と諸問題」特集号として刊行した。掲載内容の分類は以下のとおりである。論文投稿数増加策として、特集企画の公募や応募した論文の投稿費用無料化を開始した。

区分	編数	区分	編数	区分	編数
巻頭言	2	連載講座	10	支部特集	26
研究論文	40	新製品紹介	3	はぐむ	4
速報論文	8	随想	5	研究部会紹介	0
解説	24	LMコラム	6	学会便り	20
技術報告	5	研究室/研究所紹介	1	支部便り	13
年間レビュー	12	維持会員紹介	2	ダイバーシティリレーエッセイ	2
座談会	1	国際会議便り	2	掲載総数	189

2. 研究部会報告書の発行

今期終了した5研究部会のうち1研究部会の報告書を発行した。

No.	名 称	発行 令和年月日
83	アルミニウム板生産技術研究部会 「アルミニウム板圧延に於けるトラブルの現状とあるべき姿の事例集」	5年3月31日

3. その他刊行物

名 称	発行 令和年月日
第142回春期大会講演概要集(冊子体、電子版)	4年4月27日
第123回シンポジウム「金属3D造形の高精度化」	4年6月15日
第124回シンポジウム「衝撃工学の基礎と安全深化のための軽金属工業製品への応用」	4年6月28日
第143回秋期大会講演概要集(冊子体、電子版)	4年10月11日
第125回シンポジウム「カーボンニュートラルに向けたアルミニウム溶解工程の効率化」	4年12月21日
第126回シンポジウム「軽金属研究のための分析・解析」	5月1月25日
第127回シンポジウム「軽金属材料の高強度化の最前線」	5年3月27日

[4]研究及び調査の実施(定款第4条第1項第4号)

研究委員会は新設の「7000系アルミニウム合金の時効硬化挙動研究部会」を加えた15部会が活発な研究事業を実施した。WEB上に各研究部会活動紹介を行い、部会活動の見える化を図った。春秋講演大会でLPSO/MFS構造材料研究部会と汎用型高性能・高信頼性マグネシウム合金研究部会、高強度アルミニウム合金部会が企画したテーマセッションを実施した。また、最終年度を迎えた6研究部会が1年延長を決め、新規部会「アルミニウム板圧延におけるセンシング技術研究部会」、「アルミニウム溶湯による耐火物の劣化因子研究部会」、「中・高温域におけるアルミ合金の変形解析の高精度化に関する研究部会」や新しい制度である先行研究部会も加え、次年度の設置準備を行った。令和4年度の15研究部会の活動成果概要を下表に示す。

No.	部会名	課題	研究成果概要
1	押出材組織に起因する欠陥検討部会 【開催期間】 令和元年4月-令和6年3月末 (1年延長)	組織の違いにより生じる表面欠陥、機械的特性のばらつきに対して押出加工条件や工具形状で改善が図れるか否かの議論に用いることができる数値シミュレーションの開発を進める。用いる組織予測式の開発には、各種アルミニウム合金の組織変化の特性を把握する必要があるため、組織分析の実験も並行して進める。	3回(令和4年7月4日、11月2日、令和5年3月1日)の研究部会を開催、ブリッジダイス形状がA6063押出材の組織に与える影響の調査を行っている。 ①組織分析にはFlexSEM、FE-SEM、EBSDを用いて組織観察を進めながら引張試験、ピッカース硬さなどの機械的特性も調査を進めた。 ②FEM解析では組織予測のモジュールを追加してその結果の検証を始めた。

2	アルミニウム板生産技術研究部会 【開催期間】 令和元年4月-令和5年3月末 【終了】	アルミニウム板製品の表面欠陥についての分類から始まり、発生メカニズムの整理、防止策の検討や事例紹介、また、表面欠陥の検出技術についても議論検討しレベルの向上を図る。最終的には事例集を中心に報告書を作成する。	4回(令和4年4月8日、6月30日、10月25日、12月20日)の研究部会を開催。 ①発生事例に対するあるべき姿の検討と現状の対策に関する機器の抽出を行った。 ②あるべき姿と現状の乖離について議論した。 ③全体まとめによる報告書を作成した。 ④次期部会テーマについて議論し、「アルミニウム板圧延におけるセンシング技術研究部会」の設置を決定した。
3	アルミニウム中の水素と材料物性研究部会 【開催期間】 令和元年4月-令和6年3月末 (1年延長)	アルミニウムに過飽和に固溶する原子状水素とそれが分子状水素として析出したポアやブリスターなどのマイクロ欠陥の生成、成長および消滅、およびそれらがアルミニウムの材料物性に及ぼす影響を調査し、水素やマイクロ欠陥制御による特性改善の可能性を議論する。	3回(令和4年6月16日、10月31日、令和5年3月28日)の研究部会を開催。ICAA18でJST-CRESTとの共同でテーマシンポジウムを9月4-8日に開催。 ①アルミニウム中の水素挙動、水素分析・解析事例に関する最新の研究成果について、外部講師による研究紹介が行われた。 ②共通試料を用いた研究の進捗についての報告が行われた。水素脆化感受性に対する内部水素と外部水素の役割を議論した。 ③めっき表面改質による脆化現象の発現、抑制機構を議論した。 ④部会特集号への論文投稿を募り、7件の論文が投稿された。
4	アルミニウム接着接合研究部会 【開催期間】 令和元年4月-令和6年3月末 (1年延長)	アルミニウム材の接着特性、とりわけ長期信頼性が確保できることを念頭に置き、①アルミニウム素材の表面処理と接着現場での前処理による表面性状と接着メカニズムの解析、②劣化を模擬する試験条件の検討と標準化、③耐久性劣化メカニズムの解析、④劣化予測技術への足がかり、等を検討する。	5回(令和4年4月19日、6月28日、9月20日、12月14日、令和4年2月16日)の研究部会を開催。接着性能への影響因子について調査を行い、以下内容で23年春期大会テーマセッションの準備を進めた。 ①アルミニウム合金の接着接合引張せん断強度における補強板の効果を調査し、変形量との影響を考察した。 ②界面破壊可能な接着剤によるアルミニウム合金の表面物性とせん断強度の関係を調査し、濡れ・粗さの観点での考察を進めた。 ③アルミニウム接着接合部の静電容量と強度に及ぼす表面処理および吸水の影響を調査し、静電容量測定の有効性を確認した。 ④温水環境下でのアルミニウム合金の接着耐久性に及ぼす各種因子の影響を調査しており、現在試験継続中。
5	汎用型高性能・高信頼性マグネシウム合金研究部会 【開催期間】 令和元年4月-令和6年3月末 (1年延長)	汎用性の高い合金(資源偏在性の少ない安価な、かつリサイクルが容易な合金)を対象として、その性能・使いやすさを継続的に改善していく。構造部材としての信頼性(クリープ特性、耐食性、疲労特性等)や、評価手法の確立などにも焦点を当てる。	3回(令和4年6月24日、11月08日、令和5年1月30日)の研究部会を開催。話題提供として、森田委員より疑似体液中のMg合金の疲労特性、宮下委員よりMg合金接合材の疲労メカニズムについて紹介があった。また、部会で実施中の研究内容であるMg合金の温間軸力クリープ特性、Mg合金の応力腐食特性について、以下の進捗があった。 ①ボルト軸力クリープ試験: AZ31合金押出材を対象として室温~150℃における温間圧縮試験を行い、VPSCシミュレーション、Slip Trace Analysisにより各温度におけるすべり系の寄与について定量化を行った。また、ボルト軸力クリープ試験後の組織評価を実施し、クリープ変形中の組織変化を定性的に明らかにした。 ②応力腐食試験: ISO20728「マグネシウム合金の応力腐食割れ抵抗の測定」に準拠した試験(定荷重応力腐食試験)を実施した。AZ31合金押出材を対象として下限界応力を導出するとともに、破断後の破面観察を行い破壊メカニズムを考察した。加えて、応力腐食試験後の試験片の水素の定量化にトライした。
6	加工熱処理工程における動的/静的組織形成予測部会 【開催期間】 令和元年4月-令和6年3月末 (1年延長)	我が国独自のアルミ製造技術に貢献できる材料組織形成シミュレーションの構築を目指す。加工中の動的組織変化および最終組織の機械的特性に影響を及ぼす一要因に挙げられる、高温変形過程における第二相粒子などの動的析出挙動についてのデータベース構築および動的観察技術の可能性を模索する。	6回(令和4年5月23日、7月22日、9月13日、12月9日、令和5年1月24日、3月14日)の研究部会を開催。 ①Al-Mn系合金を研究対象として、動的析出挙動評価や、熱間加工試料の析出物の3次元分布状態、再結晶挙動など組織形成パラメータの実験的評価を進めている。 ②組織形成予測圧延シミュレーションを多パスでも実施できるように商用ソフトウェアへの簡易モデル接続について検討を進めている。 ③“Virtual fabrication of aluminium products: microstructural modeling in industrial aluminum production”を勉強会テキストに選定し、各委員の担当箇所の

			レビューを進め、予定の 80%が終了した。
7	アルミニウム製造副産物のアップサイクル研究部会 【開催期間】平成30年4月-令和5年3月末(1年延長)【終了】	副産物の主成分である酸化物を安価で簡易に高純度化するアップサイクルプロセスを研究・議論し、耐火材原料やセメント原料等への市場開拓を実施する。	1回(令和4年6月29日)の研究部会をハイブリッド形式で開催した。 ①ドロス特集号について投稿の呼びかけを行った。 ②アルミニウムドロスの有効利用アプリケーションに関して徳島大学・霜田委員、AGC セラミックス・川崎委員より講演いただき情報共有を行った。 ③合金系アルミニウムドロス(集じん灰)に関する分析調査を実施した。
8	中・高温域におけるアルミニウム合金の機械的特性に関する研究部会 【開催期間】平成30年4月-令和5年3月末(1年延長)【終了】	各種合金における100-400℃付近の温度における各合金の変形抵抗、特に成形時の高ひずみ速度における特性をデータベース化し、熱利用成形の普及を図る。	3回(令和4年6月22日、8月3日、9月26日)の研究部会を開催。温間成形加工実験(圧縮試験)の実施、温間引張実験の検討を行った。また、当部会参加の吉村委員を部会長とする後継部会「中・高温域におけるアルミ合金の変形解析の高精度化に関する研究部会」の設置を決定した。 ①温間成形加工実験(圧縮試験)を温度条件を変更(400~525℃)して行った。潤滑条件なども絞り込み付与可能なひずみが最大1以上となっている。 ②単軸引張試験の実施については広島商船主導でセラミック管状炉などの導入を検討した。
9	アルミニウム溶湯による耐火物の損傷プロセス研究部会 【開催期間】平成30年4月-令和5年3月末(1年延長)【終了】	耐火物損傷プロセスを溶湯成分、耐火物種等から調査し、特徴を分離、データベース化し、耐火物・溶湯品質の改善に繋げる。	1回(令和4年11月22日)の研究部会を開催。その他、部会特集号に係る打ち合わせをEメールより複数回開催。後継部会として「アルミニウム溶湯による耐火物の劣化因子研究部会」設置を決定した。 ①軽金属 第72巻 第11号 部会特集「アルミニウム溶解炉に用いられる耐火物の技術動向と諸問題」の執筆と編集。論文3編、解説1編、技術報告1編、その他1編、および外部から解説1編を掲載。 ②アルミナ-シリカ系耐火物における末期損傷組織のFE-EPMAによる評価と分類を行った。 ③スピネル質耐火物の損傷過程とそのアルミナ-シリカ系耐火物との比較検討を行った。
10	高強度アルミニウム合金部会 【開催期間】平成30年4月-令和5年3月末(1年延長)【終了】	巨大歪み加工や合金組成制御した時効析出を利用したアルミニウム合金の高強度化技術を一元的に整理し、実用高強度合金の開発に資する基礎的知見として体系化する。	5回(令和4年4月4日、6月21日、9月28日、12月28日、令和5年3月20日)の研究部会を開催した。本年度が最終年度となる。 ①各種プロセスによる共通試料高強度材の機械的特性評価を進め、機械的特性に影響する各種因子について議論を実施した。 ②秋期大会テーマセッションでテーマセッションを開催した。21の講演発表(うち8件が部会メンバーによる基調講演)がなされた。 ③実用特性として共通試料の強圧延材およびHPS材を用いた耐SCC性の評価を実施した。
11	LPSO/MFS構造材料研究部会 【開催期間】令和元年4月-令和6年3月末(1年延長)	ミルフィーユ構造(MFS構造)は、Mg合金のみならずAl合金やTi合金においても形成される可能性が高く、軽金属材料に革新をもたらすことが期待される。そこで、軽金属材料を中心にLPSO構造やMFS構造を持つ新物質の創製を試みるとともに、その構造とキンクの制御により高強度の軽金属材料の創成を試みる。	3回(令和4年11月13日、令和5年1月23日、3月29日)の研究部会を開催。 ①第142回春期大会においてテーマセッション「LPSO/MFS構造の材料科学VI」(講演27件)を開催し、LPSO/MFS構造を持つ軽金属材料に関する議論を深めた。 ②第171回日本金属学会秋期講演大会において「ミルフィーユ構造の材料科学V」(講演53件)を開催した。 ③第144回春期大会においてテーマセッション「LPSO/MFS構造の材料科学VII」(31件)を企画、開催予定。 ④国際会議LPSO/MFS2022を令和4年12月11-14日に東京品川プリンスホテルにおいて開催した(講演44件、ポスター発表37件)。 ⑤日本金属学会シンポジウム「ミルフィーユ構造の創製とキンク強化:新強化原理として見えてきたこと」(令和5年2月18日)を東京工業大学において開催した(講演5件)。 ⑥本研究部会の1年延長を申請した。
12	マテリアルズ・インフォマティクス研	データベースを中心としたプロセス・材料組織・材料特性の相	研究部会の開催なし。会誌「軽金属」令和5年4月号掲載の部会紹介記事を執筆した。

	究部会 【開催期間】 令和2年4月・令和6年3月末	互の関係性を機械学習により分析するシステムの検討および開発を行い、これらの技術を軽金属材料の研究・開発に適用することを目指す。尚、本研究部会では実験データの収集・分析に重点を置き、補完的に理論計算を行う。	①メインサーバーをクラウドサーバーから大学内サーバーに移行することにより作業効率が向上した。 ②Raspberry Pi等のIoT機器にインストールして測定器の制御および計測を行うクライアントサイドアプリ(MaterInfoDevs)の開発を行った。また、これに第一原理計算および熱伝導計算等の計算ジョブを実行できる機能を追加した。これによりサーバーサイドアプリ(MaterInfo)から計測制御および計算ジョブの投入ができるようになった。 ③ADC12の冷却曲線(プロセス)、組織画像(材料組織)および引張特性(材料特性)をMaterInfoによって特徴量抽出した後、機械学習(主成分分析、分類、回帰)を行った。
13	アルミニウム合金のひずみ速度感受性モデル化研究部会 【開催期間】 令和3年4月・令和7年3月末	新しい測定法、精度を議論し、これまでのデータの見直し、新規データの取得を行うこととともに、材料組織と力学特性との関係を明らかにし、成形や衝突のシミュレーション高精度化のため、ひずみ速度感受性に関する材料モデルおよびパラメータの適正化を行うことを目的とする。	3回(令和4年5月17日、8月29日、12月16日)の研究部会を開催。 ①外部の講師から、ひずみ速度の影響、画像相関法などの測定法についての基礎的な講演、メンバーからのひずみ速度の影響、応力-ひずみ線図の解析法についての講演をいただき、参加メンバーの共通認識を得ることができた。 ②共通試料を決定し、12月末に完成した。予備実験の引張試験の結果を示し、研究部会メンバーで議論することができた。 ③第124回シンポジウム「衝撃工学の基礎と安全深化のための軽金属工業製品への応用」を開催した(令和4年6月)。
14	6000系アルミニウム合金の相変態挙動研究部会 【開催期間】 令和3年4月・令和7年3月末	二段時効の負の効果など工業的にも問題となる本系合金特有の諸現象についての共通理解を図り、その後、複数のクラスタを考える必要性や多くの種類の析出相が出現する理由、ナノクラスタの原子レベルでの形成挙動やβ'相との関係性などについて、先進的な解析装置と広範な計算科学を組み合わせることで明らかにすることを目的とする。	3回(令和4年6月9日、令和4年9月8日、令和5年1月6日)の研究部会を開催。令和5年度からは工業的に求められている時効熱処理時間の短時間化についても取り上げ、予加工や多段時効によって析出相形成を促進する方策についての基盤知見を確立することを目指す。 ①6000系合金におけるナノクラスタ形成や転位-析出物間相互作用に関する話題提供講演を通して、最新の計算科学的なアプローチを理解、その有効性と適用範囲について理解した。 ②Jürgen Hirsch氏(Aluminium-Consulting- Königswinter)による「Al-Mg-Si合金に関する話題提供」を広く部会メンバー以外にも配信し、ヨーロッパにおける6000系合金の開発ならびに製品への適用事例に関する共通理解を図った。 ③企業委員からの話題提供講演を通して、6000系合金のナノクラスタ形成や集合組織に関する研究成果をいかに工業的に活かしていくかについての議論を行った。
15	7000系アルミニウム合金の時効硬化挙動研究部会 【開催期間】 令和4年4月・令和8年3月末	焼入れおよび時効条件が微視組織や強度、耐SCC性及びぼす影響について、大学および企業の最先端の研究技術の集結により、電子論を含む新たな視点から検討し、時効硬化メカニズムの理解を達成することを目的とする。	4回(令和4年5月20日、7月27日、11月25日、令和5年3月15日)の研究部会を開催。 ①7000系合金の時効硬化挙動に関する問題点・解決すべき点について、部会委員の共通認識を得た。 ②Al-Zn-MgおよびAl-Zn合金の共通試料(板材)を作製し、溶体化処理時の冷却速度が時効硬化及び微視組織に及ぼす影響を調査した。炉冷材では特異な組織が得られることが分かり、また、炉冷の条件がその後の時効硬化に大きく影響することが分かった。 ③拡張ヒュッケル法及びモンテカルロ法による構造安定性評価について理解を深め、実際に7000系合金に対する検討を行った。 ④第145回秋期講演大会のテーマセッションとして「7000系アルミニウム合金の時効硬化挙動」を提案した。

[5]研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第4条第1項第5号)

1. 研究・業績の表彰

それぞれ選考委員会において選考を行い、理事会での承認を得て、(1)および(7)1)を令和4年5月開催の第142回春期大会にて表彰を行う予定であったが、コロナ感染症対策によりWEB開催となったため授与物送付とした。(2)～(5)を令和4年11月開催の第143回秋期大会にて表彰を行った。(6)は、令和5年2月末に表彰楯を各大学、高等専門学校へ送付し、卒業・修了など相応しい時期に表彰を託した。(7)2)はWEB開催となったため授与物送付とした。(9)は各支部で表彰を行った。

(1)令和4年度軽金属学会賞・功労賞・功績賞

前年度の軽金属学会賞・功労賞・功績賞選考委員会で選考され、理事会で承認された下記5名を表彰した。

- 1)第25回軽金属学会賞 該当者なし

- 2)第 24 回軽金属学会功労賞 不二ライトメタル株式会社 取締役 井上 正士 君
株式会社 UACJ 主幹 箕田 正 君
- 3)第 20 回軽金属功績賞 産業技術総合研究所 マルチマテリアル研究部門 研究グループ長 千野 靖正 君
大阪大学大学院 工学研究科 教授 中野 貴由 君
大阪大学大学院 基礎工学研究科 准教授 堀川敬太郎 君

(2)令和 4 年輕金属論文賞・論文新人賞

廣澤 渉一推薦委員長のもとで論文賞対象論文 52 編の内 11 編、新人賞対象論文 15 編(14 名)の内 7 編の論文を推薦し、渡辺 義見選考委員長のもとで 3 編(15 名)の論文賞、4 名の新人賞を選考した。

1)論文賞

①「Ti-Al-Zr 系 β 固溶体中の 1473K における三元系拡散と原子間の熱力学的相互作用」

第 71 巻 12 号(2021) 539-548 掲載

新居浜工業高等専門学校 名誉教授 高橋 知司 君
大阪大学 名誉教授 南 埜 宣俊 君
新居浜工業高等専門学校 真中 俊明 君
新居浜工業高等専門学校 當代 光陽 君

②「Al-Mg-Zn₃ 元系の共晶反応を利用した Al 基鋳造合金の凝固組織と室温破壊靱性」

第 72 巻 3 号(2022) 79-87 掲載

名古屋大学大学院 岡野 直輝 君
名古屋大学大学院(現 ブラザー工業株式会社) 相川 宗也 君
名古屋大学 高田 尚記 君
名古屋大学 鈴木 飛鳥 君
名古屋大学 小橋 眞 君

③「TiC ヘテロ凝固核粒子添加による工業用純アルミニウム積層造形体の組織微細化」

第 72 巻 5 号(2022) 198-205 掲載

名古屋工業大学 渡辺 義見 君
名古屋工業大学大学院(現 リンナイ株式会社) 菅野 浩行 君
名古屋工業大学大学院(現 JFE スチール株式会社) 知場 三周 君
名古屋工業大学 佐藤 尚 君
産業技術総合研究所 佐藤 直子 君
産業技術総合研究所(現 株式会社 Henry Monitor) 中野 禪 君

2)論文新人賞

①「Al-Mg-Zn 3 元系耐熱合金の析出に及ぼす第 4 元素添加の影響」

第 71 巻 7 号(2021) 275-282 掲載

名古屋大学大学院(現 中部電力パワーグリッド株式会社) 石井 大貴 君

②「Al-Mg-Zn₃ 元系の共晶反応を利用した Al 基鋳造合金の凝固組織と室温破壊靱性」

第 72 巻 3 号(2022) 79-87 掲載

名古屋大学大学院 岡野 直輝 君

③「Al-Mg-Si 系合金におけるナノクラスターの形成に対する溶質原子と空孔の局所的結合の影響」

第 72 巻 2 号(2022) 47-53 掲載

芝浦工業大学大学院 栗原 健輔 君

④「Al-Zn-Mg 合金における引張変形中の転位密度変化に及ぼす析出粒子サイズの影響」

第 71 巻 8 号(2021) 343-348 掲載

兵庫県立大学大学院 平田 雅裕 君

(3)第 57 回小山田記念賞

戸田裕之選考委員長のもと、応募 1 件について選考委員会によるプレゼンテーション審査の結果、当該技術 1 件を選考した。
「低 CO₂リサイクルアルミ材の開発」

(株)UACJ 山崎 裕貴 君
" 永井 健史 君
元(株)UACJ 蔵本 遼 君
(株)UACJ 中西 英貴 君
" 竹田 博貴 君
トヨタ自動車(株) 浅井 千尋 君
" 倉本 剛 君
" 西川 直樹 君
" 増田 勇也 君

(4)第 45 回高橋記念賞

松田健二選考委員長のもと、各支部からの推薦 3 件について選考委員による書面審査の結果、3 名を選考した。

マツダ(株) 尾崎 幸雄 君
(株)神戸製鋼所 中村 和也 君
(株)UACJ 福島 和弘 君

(5)軽金属奨励賞・躍進賞・女性未来賞

中沢 靖選考委員長のもと、3 つの賞について審議し、躍進賞は応募 7 名から 3 名を、奨励賞は応募 7 名から 3 名を、女

性未来賞は応募 1 名を選考した。

- | | | |
|----------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 1)第 21 回軽金属躍進賞 | ヤマハ発動機(株)
名古屋大学
長岡技術科学大学 | 鈴木 貴晴 君
高田 尚記 君
本間 智之 君 |
| 2)第 40 回軽金属奨励賞 | 名古屋工業大学
名古屋工業大学
弘前大学 | 徳永 透子 君
成田 麻未 君
峯田 才寛 君 |
| 3)第 14 回軽金属女性未来賞 (株)アーレスティ | | 田中 智子 君 |

(6)令和 4 年度軽金属希望の星賞

各支部からの一次推薦 34 名について、総務委員会による二次選考の結果、34 名全員を選考した。

所属	氏名	所属	氏名
室蘭工業大学大学院	荒木 駿佑 君	日本大学大学院	柴田 一誠 君
旭川工業高等専門学校専攻科	平澤 晃大 君	山梨大学大学院	加々美 颯 君
岩手大学大学院	小野 竜司 君	東京都立大学大学院	小林 真奈 君
東北大学大学院	東 健之輔 君	長岡技術科学大学大学院	宇野 祥平 君
群馬大学大学院	増田 敦哉 君	富山大学大学院	関口 雄介 君
群馬大学大学院	大野久美智 君	金沢大学大学院	中村 太輔 君
群馬大学大学院	鈴木 滉大 君	名古屋工業大学大学院	浅井康之介 君
茨城大学大学院	福澤 宏基 君	名古屋大学大学院	岡野 直輝 君
茨城大学大学院	呉 子昂 君	名古屋大学大学院	野村 泰隆 君
茨城大学大学院	石崎 直樹 君	名古屋大学	松本 空良 君
芝浦工業大学大学院	栗原 健輔 君	兵庫県立大学大学院	北野 竜也 君
芝浦工業大学大学院	板野 真尊 君	兵庫県立大学大学院	杉原 健太 君
芝浦工業大学大学院	鈴木めぐみ 君	兵庫県立大学大学院	小川 紘平 君
工学院大学大学院	佐野 拓馬 君	兵庫県立大学大学院	澤田 康平 君
千葉大学大学院	原 遼馬 君	関西大学大学院	山口 凌太 君
千葉大学大学院	深川 陸 君	広島工業大学大学院	橋本 尊幸 君
日本大学大学院	伊野宮 匠 君	熊本大学大学院	坂井 優斗 君

(7)優秀ポスター発表賞、優秀英語ポスター発表賞

本賞は春秋大会で行われるポスターセッションで発表した優秀者に贈る賞で、今年度は以下の通り春期大会で 13 名、秋期大会で 13 名を表彰した。このうち、第 135 回秋期大会より新設した優秀英語ポスター発表賞は春期大会で 1 名を表彰した。

1)第 142 回春期大会

題目	所属	氏名
Al-Zn-Mg-Cu 系合金の水素脆化における高温時効の影響	岩手大学(院)	小野 竜司 君
Al-Mg-Si 合金中のプリスターの高温曝露下での成長挙動	岩手大学(学)	八重樫祥平君
5083 アルミニウム合金の引張試験時における水素放出量の動的計測	長岡技術科学大学(院)	宇野祥平君
燃焼合成発泡法によるポーラス L12 型(Al,Fe) ₃ Ti の反応過程	名古屋大学(学)	三谷 祥大 君
Al-Si-Cu 鑄造合金の高温析出に及ぼす Fe および Mn 添加の影響	名古屋大学(学)	薫田 晃輔 君
機械学習を用いたアルミニウム合金ラティス構造体の熱伝達特性と圧力損失の予測	名古屋大学(学)	中谷 英人 君
ショットピーニングを用いたマグネシウム合金への耐食性金属箔の接合	兵庫県立大学(院)	杉原 健太 君
国産 EBM 装置を用いた積層造形-溶浸法による Ti-Mg 合金バルク材の創製	兵庫県立大学(学)	成定 慧 君
アルミニウム合金の TEM 内その場引張試験中に観察される運動転位のすべり系の評価	横浜国立大学(学)	井上 大輝 君
アディティブマニュファクチャリングにより作製した β 相含有 TiAl 合金の組織と力学特性の Al 量依存性	大阪大学(院)	松岡 弘剛 君
AE 法を用いた α/LPSO および α/β 二相 Mg 合金の水溶液腐食挙動調査	熊本大学(学)	沖 能瑠 君
間接通電法を利用したチタン上での位置選択的な酸化膜形成	工学院大学(院)	國母 優香 君
Strength optimization strategy for Ti-6Al-4V/Si ₃ N ₄ dissimilar joint for development of hybrid spacecraft thruster	東京大学(院)	Fei Shen ONG 君

2)第 143 回秋期大会

題目	所属	氏名
軽金属水酸化物および湿式処理を施したアルミニウムドロスによる有害ガスの除去	東北大学(院)	仲鉢 優臣 君
金属 3D 積層造形したアルミニウム合金の熔融池組織がもたらす不均一変形と引張延性の異方性	名古屋大学(院)	大谷 祐貴 君
時効硬化型 Mg-Zn-Mn 合金板材の微細組織および室温特性に及ぼす微量元素添加の影響	長岡技術科学大学(院)	内田陽良君
その場合成法による高剛性 TiSi ₂ 粉末/Mg-Li-Al-Ca 基複合材料の開発	東北大学(院)	岩岡 葵 君
縦型高速双ロール鑄造材の均質化熱処理による Al-Si 合金薄板の破断伸び異方性の解消	東京電機大学(院)	伊藤 優希 君

生体内分解性 Mg-Ca 合金の in vitro 疲労寿命に与えるカルシウム添加の効果	神戸大学(院)	野口 大 君
Al-Mg-Si 合金および Al-Mg-Ge 合金における溶質原子および空孔間の相互作用	芝浦工業大学(院)	栗原 健輔 君
B 型チタン合金のポップイン挙動に及ぼす粒界方位差の影響	茨城大学(院)	湯原 勲 君
調質の異なるアルミニウム合金を用いたアノード酸化	工学院大学(院)	佐野 拓馬 君
LPSO 型 Mg-Zn-Y-Sr 合金の不燃特性	熊本大学(院)	岩永 宗征 君
低速高圧下におけるアルミニウム合金 A7075 の双ロールキャストイング	群馬大学(院)	大野久美智君
マグネシウムの加工硬化挙動に及ぼすスカンジウムの影響	神戸大学(院)	長谷川開渡君
流れ場における ZM21 マグネシウム合金ステントの腐食形態に及ぼす壁面せん断応力の影響	芝浦工業大学(院)	岩崎 史弥 君

(8)令和 5 年度軽金属学会賞・功労賞・功績賞

熊井真次選考委員長のもと、3 つの賞について審議の結果、学会賞は応募 2 名から 1 名を、功労賞は応募 4 名から 3 名を、功績賞は応募 1 名をそれぞれ下記のとおり選考した。表彰は令和 5 年 5 月開催の第 144 回春期大会にて行われる。

- | | | |
|------------------|---|-------------------------------|
| 1)第 26 回軽金属学会賞 | 宇都宮大学 教授 | 高山 善匡 君 |
| 2)第 25 回軽金属学会功労賞 | 新居浜工業高等専門学校 名誉教授
北海道立総合研究機構
(株)UACJ | 高橋 知司 君
高橋 英徳 君
戸次洋一郎 君 |
| 3)第 21 回軽金属功績賞 | 宇都宮大学 准教授 | 山本篤史郎 君 |

(9)令和 4 年輕金属学会企業奨励賞

本賞は平成 26 年度より支部表彰していたものを平成 28 年度より本部表彰として、各支部における軽金属に関する研究、技術開発、商品開発等において優れた業績を残した維持会員に贈る賞で、下記の通り、支部推薦の 2 社を表彰した。

- | | |
|----------|------|
| (株)デーマグ | 関東支部 |
| (株)成田製作所 | 東海支部 |

[6]その他、本学会の目的を達成するために必要な事業(定款第 4 条 1 項第 6 号)

1. 人材育成

本部において、昨年同様、大学オープンキャンパスへの軽金属製品の供与・貸与事業を実施し、小中高生、教師、父兄への軽金属製品啓蒙を行った。今回も維持会員企業、日本アルミニウム協会の協力を得て、9校に製品提供し、各校の開催報告記事「はぐくむ」を会誌、HPに掲載した。また、HPの研究室/研究機関紹介更新、アルミニウムの製造工程動画追加、バーチャル工場見学サイト新設(自動車製造メーカー4社掲載)を行った。男女共同参画委員会では男女共同参画学協会連絡会が後援する「女子中高生夏の学校2022～科学・技術・人との出会い～」に参加し、約100名の女子中高生の進路相談や「サイエンスアドベンチャー I」(実験・実習)に応じて、会員のキャリアパスや軽金属材料の魅力を紹介した。

また、各支部においても、学生会員を対象とした講演会、ポスター発表など、若手人材育成に関わる事業を実施した。新型コロナウイルス感染症対策のため対面開催に代わり、WEB開催した。

2. 男女共同参画委員会(若手の会、女性会員の会)

(1)若手の会

第42回会合:第142回春期大会第2日目(5月29日)にWEB開催した。大学2名、学生2名、企業12名、子供2名の合計18名が参加。

第22回若手育成のための合同会合:第142回春期大会前日(5月27日)にWEB開催した。大学1名、学生4名、企業4名、子供1名の合計10名が参加。

第43回会合:第143回秋期大会第2日目(11月13日)にハイブリッド開催、現地、WEBで合計約25名が参加。

第23回若手育成のための合同会合:第143回秋期大会前日(11月11日)に開催し、合計11名が参加。

(2)女性会員の会

第32回会合:第142回春期大会第1日目(5月28日)にWEB開催した。参加者27名(女性23名、男性4名、うち学生5名)。

第23回託児室設置:第142回春期大会はWEB開催のため設置を中止した。

第33回会合:第143回秋期大会第1日目(11月12日)にハイブリッド開催した。大会参加者以外の一般参加も含め、参加者27名(女性20名、男性7名)。現地参加は17名。

第24回託児室設置:第143回秋期大会はハイブリッド開催のため現地設置の他、WEB聴講者には自宅近隣の託児施設利用の費用助成を実施した。大学会場利用1名。

(3)男女共同参画委員会

第6回男女共同セッション:第142回春期大会第1日目(5月28日)にWEB開催し、大妻女子大学人間関係学部 准教授 田中俊之氏の「『男性学』から考える仕事と家庭、仕事と育児の両立」の講演を実施。参加者80名。

第7回男女共同セッション:第143回秋期大会第1日目(11月12日)にハイブリッド開催し、「キャリア形成～継続により開ける未来」と題して、東京工業大学 近藤科江教授の「女性リーダーを育てる上での課題」、清水建設株式会社 近江健吾氏の「仕事と家庭の両立～3回目の育休目指して子育て奮闘中～」の講演を実施。会場参加者30名、WEB参加者20名。

3. 中堅企業R&D支援

二次加工業界の多くを占める中堅企業の技術開発を支援する「中堅企業R&D支援プログラム」の一環として、無料講演会、イブニングセミナー、相談会などの行事を各支部でWEB会議を利用し実施した。本部では軽金属セミナーを録画した

DVDの無料貸出を実施し、会員サービス向上による会員基盤増強を図った。また、オンライン開催した春期大会においては、サステナブルをテーマに、(株)本田技術研究所 藤本雅昭氏の「将来自動車に向けたサステナブル材料技術」、東海旅客鉄道(株) 日下部昭彦氏の「東海道新幹線車両を用いた再生アルミ開発新規事業 ～脱炭素社会とアルミニウム～」、東洋製罐(株) 中野修治氏の「包装容器のサステナビリティに関する取り組み」の講演を、また、ハイブリッド開催した秋期大会においては、令和3年度日本アルミニウム協会賞(開発賞・技術賞)を受賞した、アルテミラ(株) 小崎直樹氏の「Take out用アルミボトルキャッピングシステムの開発」、(株)神戸製鋼所 角田亮介氏の「優れた防汚性と親水性を有するプレコートアルミニウムフィン材の開発」、(株)UACJ 藤森崇起氏の「冷間圧延板上の超軽勾配凸欠陥の検出技術」、MAアルミニウム(株) 福増秀彰氏の「TT法[®]による空調用アルミ内面螺旋溝付き伝熱管の製造技術」の講演など企業招待講師による企業セッションを実施し、技術交流の場を提供した。

4. 支部活動

(1) 北海道支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 支部理事会、支部評議員会(1回) 2.講演会等 ①支部講演大会 R4. 10月(旭川) ②講演会 3.人材育成 ・若手育成支援事業 4.表彰関係 ・軽金属学会功労賞 ・支部学生優秀講演賞 ・軽金属希望の星賞一次選考、推薦 5.維持会員加入勧誘活動 ・訪問活動継続	1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ・支部会議 6月21日 WEB開催 活動状況、活動計画報告 ・支部幹事会 9月28日 WEB開催 10月29日 対面開催 3月3日 WEB開催 支部講演大会の実施方法協議 支部活動まとめと来期活動、予算審議 2.講演会等 ①支部講演大会 10月29日 旭川工業高等専門学校 15名参加 ②支部特別講演会 8月5日 WEB開催 20名参加 3.人材育成 ・実施なし 4.表彰関係 ・1名推薦、受賞 ・支部講演大会で1名に授与 ・2名推薦、受賞 5.維持会員加入勧誘活動 ・実施なし
特記事項) 協賛事業 ・1月19-20日 日本金属学会・日本鉄鋼協会北海道支部合同冬季講演大会 室蘭工業大学 ・3月15日 日本鑄造工学会 北海道支部 技術セミナー WEB開催 「最新金属 3Dプリンタ・関連装置及び 3Dプリント用アルミニウム材料」 2.②支部特別講演会 「アルミニウムの回復・再結晶に関する私の研究から」 超々ジュラルミン研究所 吉田英雄	

(2) 東北支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 役員会(2回) ハイブリッド開催 2.講演会等 ①主催支部講演会(2回) ハイブリッド開催 ②共催・後援行事(3回) 3.人材育成 ①学生ポスターセッション 4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ③軽金属学会賞推薦 ④軽金属学会功労賞推薦 5.維持会員加入勧誘活動 ①イブニングセミナー開催 ②軽金属学会企業奨励賞推薦	1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 運営委員会 11月21日、3月6日 2.講演会等 ①第1回 11月21日 28名参加 第2回 3月6日 30名参加 ②第1回 7月5日 第2回 11月26日 第3回 12月7日 3.人材育成 ①11月26日 共催講演会にて開催 4.表彰関係 ①なし ②2名推薦、受賞 ③なし ④なし 5.維持会員加入勧誘活動 ①3月6日開催 30名参加(内企業7名) ②なし

<p>特記事項)</p> <p>共催行事</p> <p>第1回 第34回溶接・接合研究会</p> <p>第2回 東北大学金属材料研究所ワークショップ日本バイオマテリアル学会東北ブロック講演会</p> <p>第3回 日本鉄鋼協会「東北地区講演会及び若手研究者フォーラム」</p> <p>2-②共催行事において、若手支援助成金を申請予定。東北地区学生によるポスター発表の開催</p> <p>5-①イブニングセミナーにおいて中堅企業支援助成金を申請。企業向けのイベント開催。</p>
--

(3)関東支部

計画	実施状況
<p>1.総会・役員会・運営委員会・支部会合</p> <p>①支部総会(1回)</p> <p>②支部運営委員会(4回)</p> <p>2.講演会等</p> <p>①第143回秋期大会(東工大)の実行援助</p> <p>②工場見学会</p> <p>3.人材育成</p> <p>①若手研究者ポスター発表会</p> <p>②特別講演会</p> <p>4.表彰関係</p> <p>①高橋記念賞推薦</p> <p>②軽金属功労賞推薦</p> <p>③軽金属希望の星賞一次選考、推薦</p> <p>④軽金属学会企業奨励賞推薦</p> <p>5.維持会員加入勧誘活動</p> <p>セミナーや訪問活動を継続</p>	<p>1.総会・役員会・運営委員会・支部会合</p> <p>①9月17日 WEB開催</p> <p>②5月24日、12月21日、3月24日</p> <p>2.講演会等</p> <p>①11月11-13日ハイブリッド開催</p> <p>②実施なし</p> <p>3.人材育成</p> <p>①9月17日 WEB開催</p> <p>ポスター発表26件 50名参加</p> <p>②「思えば遠くへ来たものだ」 軽金属学会会長(東工大名誉教授) 熊井真次氏</p> <p>4.表彰関係</p> <p>①1名推薦、受賞(株)UACJ 福島和弘氏</p> <p>②1名推薦</p> <p>③17名推薦、全員受賞</p> <p>④(株)ダメージ 推薦、受賞</p> <p>5.維持会員加入勧誘活動</p> <p>①中堅企業技術相談室対応</p> <p>②企業奨励賞企業維持会員入会</p>

<p>特記事項)</p> <p>3.①受賞(13件): 最優秀ポスター賞2名(各会場)、優秀ポスター賞4名、 関東支部賞3名、関東支部特別賞3名、優秀学生ポスター賞1名</p> <p>【関東支部功労賞】受賞者2名: 小林郁夫氏(東京工業大学)、茂泉健氏(いすゞ自動車)</p> <p>【技術相談】1件 アート金属工業(株) 運営委員2名が対応</p> <p>【支部関連の軽金属掲載記事】</p> <p>(1)関東支部における70周年記念事業開催報告(4月号)</p> <p>(2)関東支部特集1(7月号)</p> <p>(3)功労賞表彰式開催(7月号)</p> <p>(4)関東支部 第6回若手研究者講演発表会(9月号)</p> <p>(5)関東支部 - 第8回若手研究者ポスター発表会・特別講演会 - (12月号)</p> <p>(6)関東支部特集2(3月号)</p>

(4)北陸支部

計画	実施状況
<p>1.総会・役員会・運営委員会・支部会合</p> <p>①定例幹事会(4月、9月)</p> <p>2.講演会等</p> <p>①春期講演会・中堅企業支援セミナー</p> <p>②秋期講演会・中堅企業支援セミナー</p> <p>3.人材育成</p> <p>①幹事研修会</p> <p>②若手育成支援事業</p> <p>4.表彰関係</p> <p>①高橋記念賞推薦</p> <p>②軽金属功労賞推薦</p> <p>③軽金属希望の星賞一次選考、推薦</p> <p>5.維持会員加入勧誘活動</p>	<p>1.総会・役員会・運営委員会・支部会合</p> <p>①4月14日、9月16日 富山大学</p> <p>2.講演会等</p> <p>①6月10日 富山大学 114名参加</p> <p>②11月17日 高岡市ウィングウィング 70名参加</p> <p>3.人材育成</p> <p>①中止</p> <p>②中止</p> <p>4.表彰関係</p> <p>①なし</p> <p>②なし</p> <p>③2名推薦、受賞</p> <p>5.維持会員加入勧誘活動: 随時</p>

<p>特記事項)</p> <p>2.①春期講演会・中堅企業支援セミナー</p> <p>招待講演: ハリタ金属(株) 張田 真氏、アルハイテック(株) 水木伸明氏</p> <p>企業発表: (株)オートネットワーク技術研究所 大井勇人氏</p>

<p>2.②秋期講演会・中堅企業支援セミナー 招待講演:アルテアエンジニアリング(株) 廣田英二郎氏、SCSK(株) 星 雅人氏 企業発表:YKK AP(株) 小田省吾氏 協賛事業 ①日本金属学会・日本鉄鋼協会北陸信越支部 (6月、12月) ②日本・ノルウェーアルミニウム合金シンポジウム (4月 オンライン) ③富山大学材料科学国際シンポジウム(ICPMAT) (11月 オンライン・上海大学) ④富山大学材料研究会 (10月、2月)</p>

(5)東海支部

計画	実施状況
<p>1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①総会 ②理事会(3回、但し第1回は運営委員会と兼務) 2.講演会等 ①講演会(1回) ②研究部会(航空機材料部会) 3.人材育成 ①若手ポスター発表会 ②若手の会(軽進会) ③女性会員の会 ④若手研究者・技術者向け軽金属基礎講習会 ⑤中・高生向け工場見学会 4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ③企業奨励賞推薦 5.維持会員加入勧誘活動 ①支部セミナー ②TECH Biz 2023:支部活動展示、講演会</p>	<p>1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①5月6日 メール審議実施 ②6月24日、10月21日、3月17日 WEB開催 2.講演会等 ①来期総会時間開催に変更。 ②TECH Biz で部会開催2月9日 3.人材育成 ①11月7日 金属学会・鉄鋼協会東海支部と共催 ②活動方針を検討。 ③.1 8月9日 学生・研究者・技術者向けのキャリアプランミーティング開催。 ③.2 11月29日 工場見学会(ヤマハ、ヤマハモーターエレクトロニクス)開催 ④3月16日開催 38名参加 ⑤3月25日開催 名古屋工業大学 37名参加 4.表彰関係 ①中村和也氏(神戸製鋼所)推薦、受賞 ②4名推薦、受賞 ③(株)成田製作所推薦、受賞 5.維持会員加入勧誘活動 ①2月8日「デポジション式金属 3D プリンティング」三菱電機 ②2月8-9日 テーマ「アルミニウム、チタン等の航空機用部材」で展示・講演会開催</p>
<p>特記事項) ・2024年の春期講演大会の開催場所、会期案決定。 名古屋大学東山キャンパス 2024年5月10日(金)~12日(日)</p>	

(6)関西支部

計画	実施状況
<p>1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①支部理事会(2回) ②支部幹事会(2回) 2.講演会等 ①支部シンポジウム 3.人材育成 ①関西軽金属サマースクール ②若手研究者・院生による研究発表会 ③大学院生フィールドワーク助成プログラム 4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属功労賞推薦 ③軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ④企業奨励賞 5.維持会員加入勧誘活動 ①勧誘活動継続 ②出前講座</p>	<p>1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①1月5日メール審議 ②1月5日メール審議 2.講演会等 ①新型コロナウイルス感染拡大のため中止 3.人材育成 ①新型コロナウイルス感染拡大のため中止 ②新型コロナウイルス感染拡大のため中止 ③新型コロナウイルス感染拡大のため中止 4.表彰関係 ①推薦なし ②推薦なし ③5名推薦、受賞 ④推薦なし 5.維持会員加入勧誘活動 ①実施中 ②新型コロナウイルス感染拡大のため中止</p>
<p>特記事項) 第142回春期大会(5月28~29日、オンライン)実行。 4.③杉原健太(兵庫県立大学)、小川紘平(兵庫県立大学)、北野竜也(兵庫県立大学)、澤田康平(兵庫県立大学)、山口凌太(関西大学)</p>	

(7)中国四国支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 役員会 2.講演会等 ①第14回支部講演大会(新居浜高専) ②研究会(2回) 3.人材育成 若手フォーラム及び高校生のポスター発表 4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属功労賞推薦 ③軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ④支部賞(優秀講演賞、研究・開発奨励賞、 技術賞、奨励賞)選考・授与 5.維持会員加入勧誘活動 中小企業支援事業、講演会を開催	1. 総会・役員会・運営委員会・支部会合 第1回(臨時)6月23日 WEB開催 第2回 10月23日 新居浜高専 2.講演会 ①10月23日 発表23件、40名参加 ②12月8日 愛媛大学 30名参加 3.人材育成 ①第51回 12月13日 21名参加 ピュアリティまきび ②第52回 2月18日 60名参加 ピュアリティまきび 4.表彰関係 ①マツダ(株) 尾崎幸雄氏推薦、受賞 ②新居浜工業高専名誉教授高橋知司氏推薦、受賞 ③広島工業大学 橋本尊幸君推薦、受賞 ④優秀講演賞6件、支部研究・開発奨励賞1件1組、奨励賞 11件授与 5.維持会員加入勧誘活動 セミナー12月3日広島市工業技術センター 39名参加
特記事項) 共催行事 3.①、②日本金属学会中国四国支部・日本鉄鋼協会中国四国支部 2.①第14回支部講演大会 基調講演「軽金属における固体の熱力学と相互拡散」 元新居浜工業高専 高橋知司 2.②支部研究会 「チタン合金の比抵抗の負の温度依存性」(基調講演) (株)日本スベリア社 池田勝彦 「ベータ型 Ti 合金の相安定性評価」 広島大学 下畑智暉 「レーザ積層造形したチタンの組織制御と力学特性」 鳥取大学 大津 彬 「ナノピラー表面構造形成による金属材料の抗菌機能化とチタン合金への応用展望」 香川大学 平野満大 「チタン系バイオハイエントロピー合金の開発と近年の研究動向」 新居浜高専 當代光陽 「加工および焼戻し誘起 α ''マルテンサイト」 岡山大学 竹元嘉利 「チタン合金 α ''相の昇温過程における相変態挙動」 愛媛大学 小林千悟 5.「中堅企業支援セミナー」 「自動車車体のマルチマテリアル化とそれに伴う接合技術動向」 日産自動車(株) 樽井大志 「軽金属-プラスチック異材接合を実現する表面処理技術」 広島工業大学 日野 実 「摩擦攪拌点接合を用いた異材接合技術」 広島大学 杉本幸弘	

(8)九州支部

計画	実施状況
1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①役員会(2回) ②例会(2回) 第107回役員会・例会:九州工業大学(7月) 第108回役員会・例会:YKK AP(株)(2月) 2.講演会等 ①合同学術講演会共催:(6月) 3.人材育成 ①若手研究発表会 ②中堅企業支援支部セミナー 4.表彰関係 ①高橋記念賞推薦 ②軽金属功労賞推薦 ③軽金属希望の星賞一次選考、推薦 ④合同学術講演会講演大会若手ポスター賞 ⑤軽金属学会賞 5.維持会員加入勧誘活動 ①訪問活動継続 ②中堅企業支援支部セミナー	1.総会・役員会・運営委員会・支部会合 ①②第107回役員会・例会 九州工業大学 7月29日 WEB併用 講演10件 30名参加 ①②第108回役員会・例会 YKK AP(熊本)3月13日 WEB併用 2.講演会等 ①6月4日 WEB開催 講演94件 160名参加 3.人材育成 ①7月29日 30名参加 若手研究者16名 ②7月29日 30名参加 内中堅企業4名 ③3月13日 19名参加 内学生6名 4.表彰関係 ①推薦なし ②推薦なし ③1名推薦、受賞 ④8名表彰 招待講演実施 ⑤軽金属学会賞 推薦1名 5.維持会員加入勧誘活動 ①実施なし ②7月29日、3月13日

特記事項)

・第 107 回例会同時開催セミナー (7 月 29 日 九州工業大学)

中堅企業支援支部セミナー

「溶融・凝固現象を利用したチタン合金開発」

兵庫県立大学

永瀬丈嗣

「The Japan that made me who I am today and the path I have taken」

湖西大学校

韓 昌錫

若手研究者助成セミナー

1. β 型チタン合金Ti-22V-4Alにおける変形及び破壊挙動の温度依存性 九州大学(院) 矢野 伶

2. 放射光X線イメージングを用いたTi-6Al-4V合金のレーザ溶解中におけるスパッタ発生とその場観察

九州大学(院)

安達隼介

3. Al-Zn-Mg合金における水素脆化亀裂発生挙動のマルチモーダル3Dイメージベース解析

九州大学(院)

比嘉良太

4. 真空圧延接合法によるSPCC/A6016クラッド材作製に及ぼす接合条件の影響

九州工業大学(院)

柳川朋哉

5. ナノインデンテーション法を用いた加工した純Alの室温における粒界近傍の軟化挙動の検討

熊本大学(院)

兒玉 涼

6. Mg-Zn-YおよびAZ31B合金押出材の薄片曲げ疲労試験

熊本大学(院)

松田貴大

7. マグネシウム-イットリウム合金単結晶の曲げ変形挙動

熊本大学(院)

藤原孝哉

8. マグネシウム合金のPECB法による接合

久留米工専専攻科

吉田浩基

・第 108 回例会同時開催セミナー (3 月 13 日 YKK AP 九州製造所)

中堅企業支援支部セミナー

「異形連続鑄造技術を用いたサスペンションアーム用鍛造部材開発」

日本軽金属(株)

角 慎一郎

「アルミニウム合金押出材の高精度応力測定による割れ機構解明」

YKK AP(株)

小田 省吾

若手研究者助成セミナー YKK AP(株) 九州製造所 工場見学

II. 処務の概況

[1] 役員等に関する事項

1. 役員

職名	氏名	常勤・非常勤	就任年月日 (最初の就任の時)	重任年月日 (現在の任期の開始時)	報酬	担当 *: 委員長	現職名
代表理事・会長	熊井 真次	非常勤	令和元年5月10日	令和3年5月14日	なし	組織*	東京工業大学名誉教授/特任教授
代表理事・副会長	戸田 裕之	同上	令和元年5月10日	令和3年5月14日	同上	総合計画*	九州大学教授
同上	山口恵太郎	同上	平成29年5月20日	令和3年5月14日	同上	総合計画 男女共同	元 MA アルミニウム(株) MA 経営企画部
理事	青木孝史朗	同上	令和3年5月14日		同上	大会運営* 企画	芝浦工業大学教授
同上	安藤 哲也	同上	令和3年5月14日		同上	総務、研究	山蘭工業大学准教授
同上	市野 良一	同上	令和4年5月27日		同上	編集	名古屋大学教授
同上	久保田正広	同上	令和3年5月14日		同上	国際交流* 参与会	日本大学教授
同上	倉本 繁	同上	令和3年5月14日		同上	企画 国際交流	茨城大学教授
同上	佐藤 裕之	同上	令和元年5月10日	令和3年5月14日	同上	研究 参与会*	弘前大学教授
同上	鈴木真由美	同上	令和3年5月14日		同上	男女共同* 大会運営	富山県立大学教授
同上	千野 靖正	同上	令和3年5月14日		同上	編集	産業技術総合研究所 材料・化学領域 研究企画主幹
同上	中川 恵友	同上	令和3年5月14日		同上	大会運営	岡山理科大学教授
同上	中山 栄浩	同上	令和元年5月10日	令和3年5月14日	同上	編集	山梨大学教授
同上	春名 匠	同上	令和元年5月10日	令和3年5月14日	同上	大会運営	関西大学教授
同上	廣澤 渉一	同上	令和3年5月14日		同上	編集* 総務	横浜国立大学教授
同上	松田 健二	同上	令和3年5月14日		同上	支部* 国際交流	富山大学教授
同上	向井 敏司	同上	令和3年5月14日		同上	企画 国際交流	神戸大学教授
同上	穴見 敏也	同上	平成29年5月20日	令和3年5月14日	同上	総務*	日本軽金属(株) 技術・開発グループ管理部長
同上	宇野 清文	同上	平成29年5月20日	令和3年5月14日	同上	総務 大会運営	三協立山(株) サステナビリティ推進部 部長付参与
同上	黒木 康德	同上	令和3年5月14日		同上	研究	(株)IHI 戦略技術統括本部 企画調査部 主幹
同上	谷畑 弘之	同上	令和3年5月14日		同上	男女共同	YKK AP(株) 生産本部 素材技術部 技術企画室 主幹
同上	田中 宏樹	同上	令和4年5月27日		同上	国際交流	(株)UACJ マーケティング・技術本部 R&D センター 主幹
同上	中沢 靖	同上	平成29年5月20日	令和3年5月14日	同上	総務	(株)本田技術研究所先進技術研究所 エキスパートエンジニア DMG 代行
同上	増田 勝昭	同上	令和2年5月22日	令和3年5月14日	同上	企画*	(株)神戸製鋼所 鉄鋼アルミ事業部門 技術企画部 部長
監事	橘内 透	同上	平成29年5月20日	令和3年5月14日	同上	監事	ヤマハモーターエレクトロニクス(株) 代表取締役社長
同上	佐々木 元	同上	令和3年5月14日		同上	同上	広島大学教授

[2] 職員に関する事項

職名	氏名	常勤・非常勤	採用年月日	担当事務	備考
事務局長	石川和徳	常勤	平成25年1月1日	全般	平成25年6月1日就任
事務局長補佐	櫻井健夫	常勤	令和5年1月1日	全般	
職員	前田その美	非常勤	平成8年4月1日	庶務	令和3年10月1日再雇用
職員	木村明子	常勤	平成8年4月1日	庶務・編集	
職員	中村秀樹	非常勤	平成28年2月1日	経理	令和5年3月31日退職
職員	矢住祐蔵	非常勤	令和4年12月1日	経理	
職員	ハンソン千文	非常勤	令和3年10月1日	編集	令和4年9月30日退職
職員	徳間由希	非常勤	令和4年12月1日	編集	

[3]会議等に関する事項

1. 総会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
令和4年度 定時総会 議決権行使 出席798名 会員数 1,391名	4年5月27日	1. 令和3年度事業報告に関する件(報告事項) 2. 令和3年度決算報告に関する件(審議事項) 3. 令和4年度事業計画の件(報告事項) 4. 令和4年度収支予算に関する件(報告事項) 5. 会費改定に関する件(審議事項) 6. 特別維持会員会費変更に関する件(審議事項) 7. 令和4年度役員の補充選任に関する件(審議事項)	1. 賛成798名、原案通り確認。 2. 賛成798名、原案通り承認可決。 3. 賛成797名、原案通り確認。 4. 賛成796名、原案通り確認。 5. 賛成795名、原案通り承認可決。 6. 賛成797名、原案通り承認可決。 7. 賛成798名、原案通り承認可決。

2. 理事会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第84回	4年4月26日	【審議事項】 1. 令和4年度定時総会に関する件 ①令和3年度事業報告に関する件 ②令和3年度決算報告に関する件 ③会費改訂に関する件 ④特別維持会員会費変更に関する件 2. 定時総会開催に関する件 3. 規程改定に関する件 4. 会員異動に関する件 【報告事項】 1. 他学会との協賛事業の件 2. 常設委員会報告の件	【審議事項】 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 議決権行使をはがき表決で実施、理事会メンバーのみ参加方式で開催を承認。 3. 会員規程、会費規程改定案の通り、全員異議なく承認可決。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 【報告事項】 1. 全員異議なく、確認した。 2. 資料に基づき報告。
第85回	4年6月30日	【審議事項】 1. 新理事常設委員会担当に関する件 2. 軽金属躍進賞、奨励賞、女性未来賞選考に関する件 3. 第144回春期大会実行委員会委員構成案および予算書案に関する件 4. 規程類の改定 編集委員会規程他 5. 第143回秋期大会開催形態に関する件 6. 会員異動、委員交代に関する件 【報告事項】 1. 第142回春期大会収支決算報告 2. 他学会との協賛事業に関する件 3. 常設委員会報告 4. その他 ・ICAA18準備状況 ・エネルギー利用技術作品コンテスト ・常設委員会出席率 ・参与会順延	【審議事項】 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 5. 原案の通り全員異議なく承認可決。 6. 原案の通り全員異議なく承認可決。 【報告事項】 1. 全員異議なく、確認した。 2. 全員異議なく、確認した。 3. 資料に基づき報告。 4. 資料に基づき報告。 ・参加登録者数、プログラム、Mater. Trans.投稿状況を確認。 ・第25回開催で終了を確認。 ・令和3年度 ・7月開催順延を確認。
第86回	4年9月30日	【審議事項】 1. 軽金属論文賞・論文新人賞、小山田記念賞、高橋記念賞に関する件 2. 規程改定に関する件 3. 会員異動に関する件 4. 常設委員会委員変更の件 【報告事項】 1. ICAA18終了報告速報 2. 第143回秋期大会ハイブリッド開催の件 3. 他学会との協賛事業に関する件 4. 7月-9月の常設委員会報告	【審議事項】 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 投稿規程、著作権規程改定を全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 【報告事項】 1. 資料に基づき報告。 2. 資料に基づき報告。 3. 資料に基づき報告。 4. 研究、企画、男女共同、編集、大会運営、国際交流、総務委員会から報告。

第 87 回	4 年 10 月 28 日	【審議事項】 1. 第 26 回軽金属学会賞、第 25 回軽金属学会功労賞、第 21 回軽金属功績賞に関する件 2. 事務局人事に関する件 3. 中間決算・監査報告 4. 規程改定に関する件 5. 会員異動に関する件 【報告事項】 1. 支部活動報告 2. 他学会との協賛事業に関する件 3. 10 月開催常設委員会報告 4. 第 143 回秋期大会ハイブリッド開催案内	【審議事項】 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 研究委員会規程改定、先行研究部会運営細則新設などを原案の通り全員異議なく承認可決。 5. 原案の通り全員異議なく承認可決。 【報告事項】 1. 資料に基づき報告。 2. 資料に基づき報告。 3. 資料に基づき報告。 4. 資料に基づき報告。
第 88 回	5 年 1 月 20 日	【審議事項】 1. 軽金属希望の星賞選考に関する件 2. 永年会員推薦に関する件 3. 第 145 回秋期大会実行委員構成及び予算案に関する件 4. 研究部会新設、1 年延長の件 5. 規程類の改定に関する件 6. 令和 5 年度支部費配賦額に関する件 7. 支部長交代、会員異動、委員交代に関する件 【報告事項】 1. 第 143 回秋期大会収支報告の件 2. 他学会との協賛事業の件 3. 常設委員会報告の件 4. その他	【審議事項】 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 候補者 2 名を全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 5. 会員規程、会費規程、投稿規程改定を全員異議なく承認可決。 6. 原案の通り全員異議なく承認可決。 7. 原案の通り全員異議なく承認可決。 【報告事項】 1. 資料に基づき報告。 2. 資料に基づき報告。 3. 資料に基づき報告。 4. ICAA18 決算報告。
第 89 回	5 年 2 月 28 日	【審議事項】 1. 令和 5・6 年度役員候補に関する件 2. 令和 5 年度特別維持委員会費に関する件 3. 令和 5 年度定時総会開催に関する件 4. Mater. Trans. 投稿助成の件 5. 研究部会、先行研究部会新設の件 6. 会員異動、支部長交代に関する件 【報告事項】 1. 令和 4 年度収支決算見込みおよび令和 5 年度予算案に関する件 2. 他学会との協賛事業の件 3. 常設委員会報告の件	【審議事項】 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 5. 原案の通り全員異議なく承認可決。 6. 原案の通り全員異議なく承認可決。 【報告事項】 1. 全異議なく予決算案を確認した。 2. 資料に基づき報告。 3. 資料に基づき報告。
第 90 回	5 年 3 月 30 日	【審議事項】 1. 令和 5 年度事業計画に関する件 2. 令和 5 年度収支予算に関する件 3. 令和 5・6 年度役員候補変更に関する件 4. 規程類の改定と会員マイページ無料閲覧に関する件 5. 先行研究部会新設の件 6. 会員異動に関する件 【報告事項】 1. 支部令和 4 年度活動報告および令和 5 年度活動計画について 2. 研究部会令和 4 年度事業報告および令和 5 年度事業計画について 3. 他学会との協賛事業の件 4. 常設委員会報告の件	【審議事項】 1. 原案の通り全員異議なく承認可決。 2. 原案の通り全員異議なく承認可決。 3. 原案の通り全員異議なく承認可決。 4. 原案の通り全員異議なく承認可決。 5. 原案の通り全員異議なく承認可決。 6. 原案の通り全員異議なく承認可決。 【報告事項】 1. 全員異議なく、確認した。 2. 全員異議なく、確認した。 3. 全員異議なく、確認した。 4. 資料に基づき報告。

3. 常設委員会

(1)総合計画委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第 6 回	4 年 4 月 26 日	1. 令和 3 年度決算および令和 4 年度予算案に	1. 原案のとおり確認。

		<p>ついて</p> <p>2. 総合計画委員会活動課題の進め方</p> <p>①長期ビジョン</p> <p>②生産技術関連事業拡張</p>	<p>2. 下記報告、討議。</p> <p>①各常設委員会報告。ロードマップによる中長期課題明確化を要請。</p> <p>②検討 WG メンバーを選定後、課題整理。</p>
第7回	4年6月30日	<p>1. 長期ビジョン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討方針説明 ・各常設委員会報告 ・課題議論、検討スケジュール協議 <p>2. 生産技術 WG 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WG メンバー ・検討課題・スケジュール ・維持会員アンケート案 	<p>1. 下記報告、討議。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活性化アクション検討を要請。 ・ビジョン記載内容見直し他要請。 ・次回までに見直し。 <p>2. 下記報告、討議。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽圧、ユーザー、鑄造企業参画。 ・7月15日キックオフ予定。 ・軽金属学会のコンテンツに関するアンケートを実施。
第8回	4年10月28日	<p>1. 支部活動中間報告</p> <p>2. 上期決算報告</p> <p>3. 令和5年度支部費配賦案</p> <p>4. 総合計画委員会課題進捗</p> <p>①長期ビジョン議論</p> <p>②生産技術 WG 報告</p>	<p>1. 各支部から中堅企業支援事業報告。</p> <p>2. 決算内容確認。</p> <p>3. 配賦案承認。今後支部長合意確認。</p> <p>4. 下記報告、討議。</p> <p>①各常設委員会報告、討議。</p> <p>②研究、企画、大会運営委員会へ対応要請。</p>
第9回	5年1月20日	<p>1. 総合計画委員会課題進捗</p> <p>①長期ビジョン議論</p> <p>②生産技術 WG 報告</p> <p>2. 引継事項</p>	<p>1. 下記報告、討議。</p> <p>①各常設委員会見直し案報告、外部公開版作成依頼。学会全体、総合計画委員会ビジョン報告。</p> <p>②研究委員会での部会設置検討状況報告。</p> <p>2. 委員長案提示、他委員会作成要請。</p>
第10回	5年2月28日	<p>1. 令和4年度収支決算見込みおよび令和5年度予算案に関する件</p> <p>2. 長期ビジョン公開版報告</p> <p>3. 生産技術 WG 報告</p> <p>4. 引継事項</p>	<p>1. 全異議なく予決算案を確認した。</p> <p>2. 公開用フォーマットに従い、各常設委員会の長期ビジョンを見直す。</p> <p>3. 生産技術関連の先行研究部会設置の他、シンポジウム・セミナー、交流会、展示会等で取り上げる生産技術分野の優先順位を検討。</p> <p>4. 総合計画委員会案提示。他常設委員会は3月末提出。</p>
第11回	5年3月30日	<p>1. 令和5年度事業計画・予算案(第2次)</p> <p>2. 支部令和4年度活動報告と令和5年度活動計画</p> <p>3. 長期ビジョン公開版協議</p> <p>4. 生産技術 WG 報告</p> <p>5. 引継事項</p>	<p>1. 原案のとおり確認。</p> <p>2. 各支部報告を確認。</p> <p>3. 各常設委員会公開版報告、修正。HP掲載、春期大会時にリーフレット配布、会誌掲載予定。</p> <p>4. 技術課題の優先順位整理案を確認。HP掲載検討。</p> <p>5. 4月に各常設委員会報告。</p>

(2)総務委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第299回	4年5月16日	<p>1. 人材育成検討 WG 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品供与・貸与事業 <p>2. 規程・会員特典 WG 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰授与物検討 ・編集委員会規程改定 ・MT 投稿助成選考委員会運営細則改訂 <p>3. HP・広報 WG 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バーチャル工場見学 HP 掲載 ・入会案内パンフレット改定 ・WEB サイト診断 	<p>1. 下記実施事項検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7名応募に対応中。 <p>2. 下記実施事項報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学会賞授与物現状維持。 ・少人数掲載可否審査追加承認。 ・選考基準追加承認。 <p>3. 下記実施事項報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認、スマホ掲載改善、他社打診。 ・8月改訂版内容確認。 ・HP改修検討のため、旧HP参照。

		4. 長期ビジョン	4. 下記実施事項報告、検討。 ・ロードマップ表作成要請。 ・企業に学会のコンテンツに関するアンケート実施、アンケート内容検討、9月解析。 ・HPのマルチランゲージ化。
第300回	4年8月3日	1. 人材育成検討WG報告 ・長期ビジョン 2. 規程・会員特典WG報告 ・著作権規程改定 ・投稿規程改定 ・希望の星賞選考委員会運営細則改定 3. HP・広報WG報告 ・製造工程動画HP掲載 ・バーチャル工場見学HP掲載 ・HP更新チェック ・入会案内パンフレット改定 4. 長期ビジョン 5. その他	1. 下記実施事項検討。 ・男女共同参画委員会と連携検討。 2. 下記実施事項報告。 ・承認。 ・承認。 ・承認。 3. 下記実施事項報告。 ・各社動画画像・説明文追記催促。 ・サイトバナー検討、リンク掲載依頼文案作成。 ・理事会、常設委員会にて再度要請。 ・改訂内容確認。 4. 下記実施事項報告、検討。 ・アンケート実施中。8月26日生産技術WG報告。 ・他委員会例参照し、見直し検討。 5. 第143回秋期大会懇親会ビール代6社請求承認。
第301回	4年10月11日	1. 人材育成検討WG報告 ・今後の人材育成施策検討 ・男女共同参画委員会との連携検討 2. 規程・会員特典WG報告 ・研究委員会規程改定 ・先行研究部会運営細則新設 ・小山田記念賞推薦書改定 ・論文賞選考委員会運営細則改定 ・学会コンテンツ電子版HP閲覧検討 3. HP・広報WG報告 ・バーチャル工場見学HP掲載 ・HP診断結果対応 ・今後のHP 4. 長期ビジョン 5. 令和4年度軽金属希望の星賞支部推薦枠	1. 下記実施事項検討。 ・人材育成概念図見直し、事業検討。 ・共同セッション、夏学への製品供与、企業の中中高向けイベント相乗り。 2. 下記実施事項報告。 ・承認。 ・承認。 ・承認。推薦者押捺廃止検討。電子提出今後検討。 ・承認。 ・4月開始に向け、費用、サービス内容検討。 3. 下記実施事項報告。 ・掲載企業追加。 ・SEO対応、画面拡幅他、実施。 ・今後検討。 4. 各WG活動、生産技術WGアンケート結果を見て、今後内容見直し。 5. 枠内25名の支部枠承認。
第302回	5年1月10日	1. 人材育成検討WG報告 ・新規人材育成事業 ・ライトメタルリクルート募集 ・製品供与・貸与事業 2. 規程・会員特典WG報告 ・各賞推薦書の押捺廃止 ・投稿規程改定 3. HP・広報WG報告 ・長期ビジョン ・会員マイページ利用コンテンツ電子版閲覧 4. その他 ・令和4年度軽金属希望の星賞2次選考 ・企業奨励賞確認 ・総務委員会引継事項 ・永年会員候補者	1. 下記実施事項検討。 ・小中学生企画を男女共同委員会と検討。生産技術分野の賞設置検討 ・1月中旬募集開始。3月1日掲載。 ・製品見直し実施。 2. 下記実施事項報告。 ・推薦書改定。 ・特集企画の無料投稿追加。 3. 下記実施事項報告。 ・HP改定内容承認。 ・4月スタートで閲覧フレーム準備中。 4. 下記報告。 ・34名承認、理事会上申決定。 ・支部推薦の2社確認。 ・委員長作成依頼。 ・2名承認。理事会上申予定。

第 303 回	5 年 3 月 17 日	<ol style="list-style-type: none"> 人材育成検討 WG 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ライトメタルリクルート募集 ・製品供与・貸与事業 ・長期ビジョン 規程・会員特典 WG 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・特集企画の投稿無料化 ・学会各種コンテンツ電子版閲覧 ・Mater. Trans.投稿規程 HP・広報 WG 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・長期ビジョン、今後の HP 構想 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・長期ビジョン ・総務員会引継事項 ・第 144 回春期大会懇親会ビール代 	<ol style="list-style-type: none"> 下記実施事項検討。 <ul style="list-style-type: none"> ・21 社申込、HP 掲載。アクセス解析。 ・2 社製品提供取下げ。4 月募集開始。 ・ドクター対象セッションを令和 6 年秋期大会開催。技術者表彰検討。 下記実施事項報告。 <ul style="list-style-type: none"> ・関連規程改定。 ・4 月会誌「軽金属」会報記事、6 月各種テキスト等掲載開始。 ・カテゴリ追加他改定。 下記実施事項報告。 <ul style="list-style-type: none"> ・英語サイト、ChatGPT・メディア活用他提案。 下記報告。 <ul style="list-style-type: none"> ・内部版・統一フォーマット公開版案。 ・委員長、WG 長案検討。 ・1 社減り、5 社に請求。
---------	--------------	--	---

(3)企画委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第 6 回	4 年 5 月 23 日	<ol style="list-style-type: none"> 第 119 回マルチマテリアル接合シンポジウムアンケート結果報告 70 周年記念シンポジウム開催概要報告 第 121 回飲料容器シンポジウム開催報告 第 35 回マグネシウムセミナーアンケート結果報告 新規シンポジウム・セミナー具体案について <ul style="list-style-type: none"> ・第 123 回 3D 造形シンポジウム ・第 124 回衝撃・高速変形シンポジウム ・第 125 回分析シンポジウム ・第 126 回カーボンニュートラルシンポジウム 軽金属基礎技術講座 アルミニウム合金の組織セミナー 長期ビジョン その他 <ul style="list-style-type: none"> ・著作権譲渡に関する規程改定 ・アンケート内容、方法見直し 企画委員のシンポジウム聴講 	<ol style="list-style-type: none"> 資料に基づき開催報告。 資料に基づき報告。 資料に基づき報告。 資料に基づき報告。 下記内容を議論 <ul style="list-style-type: none"> ・2 件、2 月奨学会助成申請採択。 ・テキスト原稿依頼、外販可否確認。 ・125 回進捗なし、 ・126 回 12 月 WEB 開催準備、6 月奨学会助成申請。 日程、講師調整依頼。 講師に WEB 開催、日程調整打診。 ロードマップ内容見直し。 下記内容を議論。 <ul style="list-style-type: none"> ・WG にて著作権規程改定案検討。 ・チタン・マグネシウム用作成、グーグルフォームを利用した集計検討。 ・世話人手伝いを条件に無料参加可。
第 7 回	4 年 7 月 15 日	<ol style="list-style-type: none"> 119 回マルチマテリアルシンポジウム報告 123 回 3D 造形シンポジウムアンケート結果 124 回衝撃・高速変形シンポジウム報告 新規シンポジウム・セミナー具体案について <ul style="list-style-type: none"> ・125 回カーボンニュートラルシンポジウム ・126 回分析・解析シンポジウム ・127 回以降案テーマ案 軽金属基礎技術講座 アルミニウム合金の組織セミナー日程 長期ビジョン 著作権譲渡に関する著作権規程改定 アンケート集計方法変更、回答率向上 	<ol style="list-style-type: none"> 資料に基づき開催報告。 資料に基づき開催概要報告。 資料に基づき開催概要報告。 下記内容を報告、議論。 <ul style="list-style-type: none"> ・12 月 21 日オンライン開催。 ・会告案、1 月開催予定。 ・アルミアップグレードリサイクル、接合技術、ISMA・MI・医工、軽量材料の高強度化技術など 4 テーマ検討。 会告案、11 月 24-25 日開催。 入門編 12 月 16 日、中級編 1 月 27 日、応用編 2 月 17 日予定。 生産技術 WG でアンケート実施。 シンポジウム、セミナーテキスト原稿の著作権帰属を著者に修正 Google フォーム利用、回答後退席要請。
第 8 回	4 年 9 月 13 日	<ol style="list-style-type: none"> 117 回マグネシウム接合シンポジウム報告 120 回自動車熱マネジメントシンポジウム報告 124 回衝撃・高速変形シンポジウム報告 新規シンポジウム・セミナー具体案について 	<ol style="list-style-type: none"> 資料に基づき開催報告。 資料に基づき開催報告。 資料に基づき開催報告。 各企画案を報告、議論。

		<ul style="list-style-type: none"> ・126 回分析・解析シンポジウム ・127 回アップグレードシンポジウム ・128 回接合シンポジウム ・129 回自動車関連シンポジウム ・130 回高強度材シンポジウム 5. 軽金属基礎技術講座 6. アルミニウム合金の組織セミナー日程 7. 長期ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・1 月 25 日対面開催。 ・来期開催、助成申請 2 月予定。 ・次回会告案報告。 ・次回会告案報告 ・今期中開催、会告案報告。 5. 会告最終版、11 月 24-25 日開催。 6. 入門編 12 月 16 日、中級編 1 月 27 日、 応用編 2 月 17 日決定、募集開始。 7. 生産技術 WG アンケート結果報告。企画 委員長長期ビジョン見直し、生産技術に 関するシンポジウム企画案検討予定。
第 9 回	4 年 11 月 21 日	1. 123 回 3D 造形シンポジウム報告 2. 新規シンポジウム・セミナー具体案について <ul style="list-style-type: none"> ・125 回カーボンニュートラルシンポジウム ・126 回分析・解析シンポジウム ・127 回高強度材シンポジウム ・128 回アップグレードシンポジウム ・129 回接合シンポジウム ・130 回車両信頼性評価技術シンポジウム ・アルミニウム合金の組織セミナー 3. 軽金属基礎技術講座 4. 長期ビジョン	1. 資料に基づき開催報告。 2. 各企画の進捗報告。 <ul style="list-style-type: none"> ・WEB 開催参加募集中。66 名申込。 ・参加募集中。ハイブリッド開催検討。奨学 会助成申請。 ・3 月 27 日開催。会告案承認。 ・会告案検討中。 ・会告案検討中 ・会告案承認。日程、会場調整。 ・参加募集中。講師接続テスト予定。 3. 39 名参加。役割分担確認。オンデマンド 用講演録画検討。 4. 見直し案。生産技術 WG 提案「取り上げ たい技術分野マップ」について、シンポジ ウム、セミナー企画予定。
第 10 回	5 年 1 月 13 日	1. 開催報告 2. 新規シンポジウム・セミナー具体案について <ul style="list-style-type: none"> ・126 回分析・解析シンポジウム ・127 回高強度材シンポジウム ・128 回アップグレードシンポジウム ・129 回接合シンポジウム ・130 回車両信頼性評価技術シンポジウム ・アルミニウム合金の組織セミナー 3. 長期ビジョン 4. 引継事項	1. 軽金属基礎講座、入門編セミナー、125 回カーボンニュートラルシンポジウムの 開催報告。 2. 各企画の進捗報告。 <ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド開催決定。 ・参加者募集中。 ・5 月 31 日開催。ハイブリッド検討。 ・1 月末までに会告案検討。 ・講師、日程、会場調整。 ・中級編、応用編の参加募集中。講師接続 テスト予定。 3. 見直し案。生産技術シンポジウム案協議。 4. 次回委員長案提示。
第 11 回	5 年 3 月 13 日	1. 開催報告 2. 新規シンポジウム・セミナー具体案について <ul style="list-style-type: none"> ・127 回高強度材シンポジウム ・128 回アップグレードシンポジウム ・129 回接合シンポジウム ・130 回車両信頼性評価技術シンポジウム 3. 長期ビジョン 4. 引継事項	1. マグネシウムセミナー、126 回シンポジウ ム、中級編、応用編セミナーの開催報 告。軽金属セミナー参加状況まとめ、軽 金属奨学会シンポジウム助成報告。 2. 各企画の進捗報告。 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者募集中。 ・5 月 31 日ハイブリッド開催。 ・7 月開催予定 ・9-10 月開催予定。 3. 公開版提案。 4. 委員長案検討。チタンシンポジウム・セミ ナー検討依頼、シンポジウムテキストに 論文形式追加、著作物引用に関する注 意見直し。

(4)編集幹事会・委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
令和 4 年度 第 1 回編集 委員会	4 年 5 月 30 日	1. 軽金属誌の現況 2. 特集号について 3. Mater. Trans.報告	1. 所属別投稿数推移、今後の刊行予定確 認。 2. 2023 年 5 月水素部会特集号予定。 3. 以下報告。 2022 年 12 月チタン特集企画参加、

			ICAA18 特集査読依頼、掲載可判断短縮、和文論文の英訳投稿支援(DeepL 使用)、プレプリントサーバーに掲載された原稿の投稿可否検討
第 626 回	4 年 5 月 30 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 軽金属 6-7 月号の進捗状況報告 2. 校閲状況報告 3. 軽金属 7 月号掲載内容報告 4. 軽金属誌活性化状況報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 規程整備 G 報告 2) 解説記事 G 報告 3) 特集・連載講座 G 報告 5. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・長期ビジョン ・MT 編集委員会報告 ・MT ICAA18 特集 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進捗状況を確認。 2. 校閲状況を確認。 3. 掲載内容を確認。連載講座掲載。 4. 各 G 検討結果報告。 <ol style="list-style-type: none"> 1) MT 投稿助成選考委員会運営細則改定案総務承認。投稿規程改定検討(無料和訳投稿期限)。 2) トップ座談会: 三菱重工業決定。解説記事提案依頼再度実施。 3) 9 月ミニ特集巻頭言確認。2023 年 9 回脱炭素 II ミニ特集号計画。 5. 下記内容を議論。 <ul style="list-style-type: none"> ・生産技術者向け学会コンテンツアンケート案検討。 ・上記編集委員会報告と同様。 ・投稿締切、提出遅れ原稿の処置など事務局問い合わせに回答。
第 627 回	4 年 7 月 25 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 軽金属 8-9 月号の進捗状況報告 2. 校閲状況報告 3. 軽金属 9 月号掲載内容報告 4. 軽金属誌活性化状況報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 規程整備 G 報告 2) 解説記事 G 報告 3) 特集・連載講座 G 報告 5. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・長期ビジョン ・MT 編集委員会報告 IF 向上策 ・大会懇親会無料参加優遇 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進捗状況を確認。 2. 校閲状況を確認。 3. 掲載内容を確認。連載講座掲載。 4. 各 G 検討結果報告。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 投稿規程改定(無料和訳投稿期限)、著作権規程改定(企画要請、テキスト原稿著作権帰属変更)、執筆要領の参考文献英語表記継続協議。 2) トップ座談会: 9 月 21 日。解説記事提案採択。企業研究会講演 6 件依頼。執筆者未定テーマ案件は今後、執筆者選定。 3) 2023 年 9 回脱炭素 II ミニ特集号 4 編執筆依頼。 5. 下記内容を議論。 <ul style="list-style-type: none"> ・学会コンテンツアンケート実施中。結果を受けて各 G で記事検討。コンテンツ WEB 掲載システム検討。 ・MT 論文のタイトルに原稿の分類 Review、Overview 追加承認。 ・143 回では実施しないと決定。
第 628 回	4 年 9 月 26 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 軽金属 10-11 月号の進捗状況報告 2. 校閲状況報告 3. 軽金属 11 月号掲載内容報告 4. 軽金属誌活性化状況報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 規程整備 G 報告 2) 解説記事 G 報告 3) 特集・連載講座 G 報告 5. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・長期ビジョン ・MT 編集委員会報告 IF 向上策 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進捗状況を確認。 2. 校閲状況を確認。 3. 掲載内容を確認。 4. 各 G 検討結果報告。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 執筆要領の参考文献英語表記次回案提出。 2) トップ座談会取材記事確認。解説記事提案の執筆者候補決定。材料表記注意事項、自動車電動化、スクラップ回収量算定式開発など執筆依頼。 3) 関東支部研究室紹介追加分 3 月号掲載。年間レビュー体裁統一検討。 5. 下記内容を議論。 <ul style="list-style-type: none"> ・学会コンテンツアンケート結果を受け、環境対応・カーボンニュートラル記事を 6 月までに執筆依頼。会員へのコンテンツ無償閲覧サイト見積中。4 月サービス開始を総務委員会に上申予定。 ・和文特集号の英訳投稿打診、論文受賞論文紹介記事掲載など検討。

令和4年度 第2回編集 委員会	4年11月13日	<ol style="list-style-type: none"> 軽金属誌の現況 Mater. Trans. 報告 長期ビジョン 	<ol style="list-style-type: none"> 所属別投稿数推移、今後の刊行予定確認。 掲載数。チタン特集10編、ICAA18特集約30編掲載予定。被引用数向上策としてCurrent Trend in Researchを追加。論文賞受賞論文の英訳投稿、特集の英訳投稿推進。 生産技術者向け記事掲載、学会コンテンツの会員無料公開、参考文献の英語表記(IF 向上対策)、冊子体発行停止の対策検討。
第629回	4年11月21日	<ol style="list-style-type: none"> 軽金属12-1月号の進捗状況報告 校閲状況報告 軽金属12月号掲載内容報告 軽金属誌活性化状況報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 規程整備 G 報告 2) 解説記事 G 報告 3) 特集・連載講座 G 報告 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・長期ビジョン ・生産技術 WG 提案対応 ・会員へのコンテンツ無償提供 	<ol style="list-style-type: none"> 進捗状況を確認。 校閲状況を確認。 掲載内容を確認。 各 G 検討結果報告。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 執筆要領の参考文献英語表記案。単行本の取扱い検討追加。Mater. Trans. 投稿規程へのCurrent Trend in Research、Opinion 追加。 2) トップ座談会取材記事最終確認。解説記事提案の執筆者候補決定。飲料缶の歴史、樹脂と金属の接合、ハイエントロピー合金など執筆依頼。 3) 特集企画公募・無料投稿制度検討。 下記内容を議論。 <ul style="list-style-type: none"> ・委員長追加施策。 ・環境・カーボンニュートラル関連記事案ヒアリング。 ・マイページ利用案、費用報告。
第630回	5年1月24日	<ol style="list-style-type: none"> 軽金属2-3月号の進捗状況報告 校閲状況報告 軽金属2月号掲載内容報告 軽金属誌活性化状況報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 規程整備 G 報告 2) 解説記事 G 報告 3) 特集・連載講座 G 報告 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・長期ビジョン ・引継事項 ・会員へのコンテンツ無償提供 	<ol style="list-style-type: none"> 進捗状況を確認。 校閲状況を確認。 掲載内容を確認。 各 G 検討結果報告。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 執筆要領の参考文献英語表記修正案に雑誌英語表示リスト追加。投稿規程へ特集への投稿掲載無料追加、Mater. Trans. 投稿規程の料金見直し。 2) 2024年トップ座談会取材先に飲料缶メーカー検討。環境・カーボンニュートラル、アルミニウム協会賞受賞企業解説記事他、執筆者検討。 3) 特集企画公募会告文、2024年2月マグネシウム特集会告案、次期連載講座7-8月開始を検討。 下記内容を議論。 <ul style="list-style-type: none"> ・外部公開用見直し案。 ・次回、委員長案を協議。 ・会員規程の会員特典見直しに先立ち、2021年4月以降のコンテンツを4月掲載。掲載リスト案次回報告。
第631回	5年3月24日	<ol style="list-style-type: none"> 軽金属4-5月号の進捗状況報告 校閲状況報告・確認 軽金属4-5月号掲載内容報告 軽金属誌活性化状況報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 規程整備 G 報告 2) 解説記事 G 報告 	<ol style="list-style-type: none"> 進捗状況を確認。 校閲状況を確認。 掲載内容を確認。 各 G 検討結果報告。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 執筆要領、企画特集の投稿無料化関連の規程類、Mater. Trans. 投稿規程の改定。特任編集委員関連規程改定予定。投稿無料化HP、会誌掲載。 2) トップ座談会取材先東洋製罐決定。解説執筆依頼(飲料用アルミニウム缶の発展史、ナノポーラス材料、Mg-Li 合金他)。

		<p>3)特集・連載講座 G 報告</p> <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期ビジョン ・引継事項 ・Current trend in research 執筆 ・会員へのコンテンツ無償提供 	<p>ISMA マグネシウム投稿。</p> <p>3)2023 年 10 月マグネシウム連載講座(22 回)開始、特任編集委員選定。ICAA18 特集記事の和訳投稿カラー印刷費無償を承認。</p> <p>5. 下記内容を議論。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部公開版修正。内部版更新要請。 ・委員長案を協議。 ・委員長執筆、2024 年 2 月投稿。 ・4 月会誌会報記事のマイページ掲載。6 月以降テキスト順次掲載。
--	--	---	---

(5)-1 国際交流委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第 4 回	4 年 5 月 10 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. ALMA2022 Forum & Meeting 2. 国際賞検討 3. 英語ポスター発表者増加策 4. 長期ビジョン 5. 他学協会連携 6. 軽金属国際会議 7. タイ研修会 8. ICAA18 進捗 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 11 月 11-12 日開催。Meeting は東工大会場でハイブリッド開催。講師中国、韓国 2 名決定、日本産側は箕田氏。 2. 規程案賞位置付け、対象再検討。 3. 希望の星賞の選考基準見直し、発表経験追記。 4. 中長期課題追加検討。 5. 11 月 18 日チタン・マグネシウム研究会開催、独自国際会議開催など議論継続。 6. 材料を横断した大規模、材料形態・特性別の小規模会議検討継続。 7. コロナ状況確認と内容打診予定。 8. 5 月末 1 ページアブストラクト、MT 投稿期限。
第 5 回	4 年 8 月 1 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. ALMA2022 Forum & Meeting 2. 国際賞検討 3. 英語ポスター発表者増加策 4. 長期ビジョン 5. 他学協会連携 6. 軽金属国際会議 7. タイ研修会 8. ICAA18 進捗 9. 軽金属国際ワークショップ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各国意向確認し、2023 年の対面開催に延期。 2. 規程見直し案承認。授賞対象、50 歳以上、毎年 2 名、副賞 100 万円/人。 3. 希望の星賞の選考基準見直し案承認。 4. 中長期課題追加検討。 5. 11 月 18 日チタン・マグネシウム研究会会告案承認。参加募集開始。 6. 小規模会議、ISMA10 年の取組など中長期取組として討継続。 7. スケジュール案、TISTR 交渉相手、予算 50 万円など決定。 8. 海外 100 名ほども含め 322 名参加、工場見学 1 社実施、Mater. Trans.投稿 51 件、オンラインポスター発表など報告。 9. ICAA18 終了後の 9 月 9 日に開催される富山大学先進アルミニウム国際研究センター(ARC)主催の Hirsch 先生特別講演会に共催。講演謝金 10 万円支出承認。
第 6 回	4 年 11 月 28 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際賞検討 2. チタン・マグネシウム研究会開催報告 3. タイ研修会 4. 小規模国際会議 5. 長期ビジョン 6. ALMA2023 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 奨学会説明、内容調整中。 2. 11 月 18 日 WEB 開催。76 名参加。 3. 9 月 6-8 開催。講義 2 日、見学会 1 日。講師現地出張要請、見学先交渉中。 4. 連携先の海外研究者を招聘するワークショップ形態で年 5 回開催。会議準備費用 10 万円支援案。費用規模、件数、公募など検討継続。 5. 委員意見を反映した見直し実施。 6. 第 145 回秋期大会会期中の 11 月 10-11 日、都立大学南大沢キャンパス開催。見学会も設定。

		7. ICAA18 開催報告 8. 軽金属国際ワークショップ	7. 477 名参加、現地参加 360 名。 8. Hirsch 先生講演会に 122 名参加。
第 7 回	5 年 2 月 22 日	1. ALMA2023 2. タイ研究会 3. 小規模国際会議支援内容 4. 長期ビジョン見直し 5. その他 ・引継事項 ・国際賞 ・第 3 回フラウンホーファーワークショップ	1. 秋期大会との併設となり、会場、見学先案検討、講師調整状況、アブストラクト、プロフィール資料 5 月末締切、予算 144 万円計上など確認。 2. 講師 8 名中 6 名の現地参加、工場見学先 2 か所決定。TISTR との契約(約 80 万円負担)準備、全体予算 109 万円計上。 3. 次回具体案報告。 4. 外部公開用は課題、金額削除。 5. 以下報告。 ・委員長案を一部修正。 ・次年度再検討。 ・次年度開催検討。

(5)-2ICAA18 組織委員会、実行委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
ICAA18 第 17 回 実行委員会	4 年 4 月 15 日	1. 各 WG 進捗報告	1. 下記報告。 ・プレナリー40 分講演、プログラム公開と合わせ、講師に修正案内、質疑応答通訳は実行委員会に対応。 ・プログラム編成担当 11 名に廣澤 WG 長から依頼。 ・査読依頼 4/18、4/28 から査読システム確認。 ・MT 投稿希望の査読担当編集委員案 4 月中に作成。 ・講演ビデオストリーミング配信 12 月末まで(配信可否調査)。 ・ポスター発表者は 3 分プレゼンビデオ、e ポスター事前提出、審査は当日プレゼンも含め実施。 ・趣意書修正、5 口、3 口、2 口、と個別アイテム選択、HP サイト受付、申込書面も用意。 ・展示一覧は次回報告。 ・見学会 5-10 名規模開催で企業に打診、小型バスに変更、HP 掲載時期未定。 ・エクスカージョンは最小催行人数 15 名で募集、コース案内 HP 掲載 5 月初旬。 ・富山県アルミ産業協会ロゴはメインスポンサーと区別して HP 掲載。
ICAA18 第 13 回 組織委員会	4 年 4 月 20 日	1. 進捗状況報告 ①プログラム編成 ②one-page abstract のチェック方法と体制 ③展示依頼 ④寄付金依頼 ⑤ICAA19 のアナウンス 2. バンケット・ディナー招待者	1. 下記報告。 ①5 月 7 日までに編成案作成、その後、座長案作成。 ②Web 査読システム利用。6 月 1-10 日に査読完了予定。 ③日本企業向け機器展示申込 Web サイト、趣意書内容見直し。 ④日本企業向け寄付申込 Web サイト、趣意書内容見直し。 ⑤バンケット時はビデオ放映、クロージング時はライブ(15 分) 2. 候補者案、後日メール審議。ディナーは講演終了時間が 20 時 30 分のため、別時間に開催検討。
ICAA18 第 18 回 実行委員会	4 年 5 月 18 日	1. 各 WG 進捗報告	1. 下記報告。 ・プログラム編成(枠格納)完了。PCO でプログラム作成し、6 月講演者に連絡。座長選定を後日依頼。

			<ul style="list-style-type: none"> ・1 ページアブストラクト査読時企業宣伝は久保田主査に連絡。フォーマットチェックは提出版が pdf であり、フォントサイズ確認各自実施。PCO 相談可。5/20 に提出リマインド。現在 15 件。 ・MT 掲載 12 月から 2 月に延期。現在投稿 0 件。31 日投稿件数を見て、リマインド実施判断。投稿遅れも無料で MT 掲載。 ・学生アルバイト人員、配置。富山大学生募集。 ・国内企業向け展示募集(スポンサー募集)は HP 公開。 ・市補助金対応で市民参加者用見学コース検討必要。 ・エクスカーシオン募集 5 月末 HP 掲載。 ・HP 更新:special issue 案内、国内スポンサー募集、海外入国手続き追加。 ・観光庁ハイブリッド国際会議実証事業助成金申請(400 万円) ・初期参加登録延長は 5/31 状況を見てメール審議。 ・組織委員会決定の懇親会、ランチ(晩餐会に代わる)招待者報告。
ICAA18 第 19 回実行委員会	4 年 5 月 31 日	1. 組織委員会報告事項確認	<ul style="list-style-type: none"> 1. 以下確認。 ・参加申込 271 名(国内 176 名)、参加申込、MT 投稿 6/12 まで延長。 ・実証事業採択決定。 ・原則委員は参加費支払い。展示企業説明員は不要。
ICAA18 第 14 回組織委員会	4 年 6 月 3 日	1. 各 WG 進捗報告	<ul style="list-style-type: none"> 1. 以下確認。 ・参加申込者 278 名(現地 215 名、WEB63 名)、内日本人 172 名(現地 149 名、WEB23 名)、実証事業採択 400 万円助成には現地日本人参加者 201 名以上必要であり、企業委員に動員要請。 ・参加申込、MT 投稿 6/12 締切延長。 ・MT 投稿 30 件、1 ページアブストラクト 233 名提出。 ・プログラム 6 月末公開、1 ページアブストラクト未提出者 70 件催促。 ・ECR 選考資料を ICAA 国際委員に送付し、6 月末受賞者決定。 ・MT 特集 2023 年 2 月に変更。 ・バンケット、昼食会招待者へ連絡。 ・ハイブリッド実証事業 400 万円を収支見込に追加。赤字補填用途と新規用途を区分。 ・富山現地視察 7 月検討
ICAA18 第 15 回組織委員会、第 20 回実行委員会	4 年 8 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> 1. 会場視察 2. 各 WG 報告 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 会場確認。 2. 以下確認。 ・ポスター審査(一般、学生)審査員、実施方法、受賞者掲示 ・座長調整中⇒8/15 プログラム WEB 掲載、8/22 アブストラクト WEB 掲載(PW 設定) ・MT 特集号 2 月号、早期公開無、巻頭言担当北園主査 ・運営マニュアル確認 ・開会、懇親会、閉会台本 ・収支見込 4,820⇒5,528 万円
ICAA18 第	5 年 2 月 27 日	1. 事業報告	1. 各 WG、SWG から「振り返り」報告。

16 回 組織委員会、第 21 回 実行委員会	2. Mater. Trans. 特集報告 3. 会計報告 4. 組織委員会全体報告	2. 54 編投稿、2 月号掲載 27 編、投稿掲載費用 235 万円。 3. 約 400 万円の黒字決算報告。 4. 組織委員の「振り返り」報告。
-------------------------	--	--

(6)大会運営委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第 4 回	4 年 5 月 11 日	1. 第 142 回秋期大会準備状況 2. 第 143 回秋期大会開催計画 3. 企業 WG 報告・討議 4. 運営 WG 報告・討議 5. 長期ビジョン	1. 大会 WEB サイト、e ポスター公開、リハーサル予定報告。大会運営マニュアル改定、会場係依頼、アンケート内容確認。企業研究会 4 社、招待講演 3 件確認。 2. コロナ対応でハイブリッド開催検討。6 月末開催形態決定。奨学生セッション・男女セッション時間枠確保。個別託児依頼検討・試行。 3. 第 143 回企業招待講演はアルミニウム協会賞関連。第 144 回は生産技術関連テーマ検討。「サステナブル」テーマで実施。リクルート企画は対面開催を見据えて検討中。 4. 大会運営細則検討開始。 5. ロードマップ案、中長期課題整理。
第 5 回	4 年 7 月 29 日	1. 第 143 回秋期大会準備状況 2. 大会運営 WG 報告・討議 3. 企業 WG 報告・討議 4. 142 回春期大会開催報告・決算報告 5. 144 回春期大会開催計画 6. 長期ビジョン	1. コロナ対応でハイブリッド検討追加。男女セッション単独枠、在宅託児室対応。 2. 142 回大会アンケート結果、大会運営細則検討進捗報告。 3. 142 回企業研究会アンケート結果、今後の対応策報告。 4. 資料に基づき報告、確認。 5. 実行委員会委員、予算案承認。 6. 委員意見聴取予定。
第 6 回	4 年 10 月 26 日	1. 第 143 回秋期大会ハイブリッド開催準備 ①オンライン開催 HP ②マニュアル ③表彰式 ④男女共同参画委員会イベント ⑤優秀ポスター発表賞審査・表彰 ⑥オンライン開催アンケート 2. 企業 WG 報告 ①リクルート企画 ②企業セッション企画 3. 運営 WG 報告 ①大会運営マニュアル改定 4. その他 ①第 144 回春期大会関連事項 ②長期ビジョン ③生産技術 WG 関連	1. 下記報告。 ①10 月 6 日公開 ②ハイブリッド用座長・副座長、中継係、会場係マニュアル作成。 リハーサル 60 分 3 回を計画。 ③ハイブリッド開催。 ④ハイブリッド開催方法今後協議。 ⑤現地 Wi-Fi 環境、参加場所、後日表彰を確認。 ⑥アンケート案 2.5 日制追加。 2. 企業 WG 報告 ①143 回は中止、144 回は 137 回方式で学生参加増加を検討。 ②143 回は 4 件講演。144 回は EV、低 CO ₂ 生産技術を予定。 3. 運営 WG 報告 ①検討継続。 4. 下記報告 ①11 月号会告案。会場教室変更。ハイブリッド開催検討。 ②講演者増、講演内容拡充など追加。ハイブリッド開催など最適開催形態検討。 ③アンケート結果の取り上げ検討。
第 7 回	5 年 2 月 6 日	1. 第 143 回秋期大会決算、アンケート、反省点 2. 第 144 回春期大会のオンライン開催計画 3. 第 145 回秋期大会について ・開催計画概要、予算、実行委員会名簿 4. 企業 WG 報告・討議	1. 決算、アンケート結果について報告。 2. ハイブリッド開催への変更を決定。会場、ハイブリッド開催方式案、ポスター対面開催方法他確認。 3. 資料に基づき報告、会場、確認。 4. 第 144 回企業招待講演は「低 CO ₂ 生産

		<p>5. 運営 WG 報告・討議</p> <p>6. 男女共同参画委員会 144 回春期大会要請</p> <p>7. 第 144 回大会プログラム編成について</p> <p>8. その他 ・長期ビジョン ・引継事項</p>	<p>技術」テーマで実施。リクルート企画は対面開催の募集案作成。</p> <p>5. ハイブリッド開催ガイドラインを作成し、支部長会意見を聴取。実行委員会でハイブリッド開催可否を判断。</p> <p>6. イベント一般参加・ハイブリッド開催、男女セッションの単独開催時間枠決定。託児室設置決定。</p> <p>7. プログラム編成。座長、ポスター審査員案を決定。</p> <p>8. 以下報告。 ・外部公開版案検討。 ・委員長案報告。委員意見聴取。</p>
--	--	--	--

(7)研究委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第 3 回	4 年 4 月 13 日	<p>1. 研究部会期末報告</p> <p>2. 新研究部会報告</p> <p>3. 令和 3 年度決算と令和 4 年度予算</p> <p>4. 令和 3 年度事業報告と令和 4 年度事業計画</p> <p>5. ロードマップ</p> <p>6. 長期ビジョン</p> <p>7. 部会入会手続き、部会費徴収について</p> <p>8. 部会紹介 会誌、HP 掲載</p>	<p>1. 14 研究部会報告。</p> <p>2. 1 部会報告</p> <p>3. 資料に基づき報告。</p> <p>4. 資料に基づき報告。</p> <p>5. マグネシウム、チタンのロードマップ更新予定。サイエンスロードマップにテクノロジーロードマップを追加する。</p> <p>6. 部会入会手続き支援(若手研究者部会設置勧誘)、生産技術部会設置(カーボンニュートラル関連)、先導研究部会、フォーラム制度など検討。</p> <p>7. 手続き連絡、6 月部会費徴収。</p> <p>8. 令和 5 年 4 月会誌掲載予定確認。</p>
第 4 回	4 年 7 月 4 日	<p>1. 新研究部会報告</p> <p>2. マグネ・チタンロードマップ案報告</p> <p>3. 新部会発足/アシスト WG 報告</p> <p>4. 長期ビジョン</p> <p>5. 部会延長申請</p>	<p>1. 7000 系アルミニウム合金の時効硬化挙動研究部会開催報告</p> <p>2. 年代軸修正。</p> <p>3. 新部会検討案、生産技術、利用加工技術に関連する新部会協議。</p> <p>4. 見直し案、先行研究部会 規程類、募集案告案。</p> <p>5. 水素部会、マグネシウム部会延長申請。</p>
第 5 回	4 年 10 月 7 日	<p>1. 先行研究部会規程</p> <p>2. マグネシウム、チタンロードマップ</p> <p>3. 新部会提案</p> <p>4. 長期ビジョン</p> <p>5. 研究部会延長申請</p> <p>6. 部会中間報告(8 部会)</p> <p>7. 決算報告</p>	<p>1. 運営細則、参加募集書式承認。</p> <p>2. フォーマット統一。関連団体へ提出。</p> <p>3. 各 WG 提案案件を維持会員に参画打診。</p> <p>4. サイエンスからエンジニアリングに拡張し、部会活動活性化を検討。</p> <p>5. 加工熱処理工程における動的/静的組織形成予測部会の 1 年延長承認。</p> <p>6. 各部会中間報告。</p> <p>7. 9 月末決算結果報告。</p>
第 6 回	4 年 12 月 26 日	<p>1. 新研究部会 WG 提案案件採択</p> <p>2. 研究部会延長申請</p> <p>3. 後継部会設置提案</p> <p>4. 令和 5 年度予算作成依頼</p>	<p>1. 維持会員に 9 テーマについてアンケートを実施。必要性有無、参加可否の回答を得て、各 WG で新研究部会、先行研究部会の設置を検討。</p> <p>2. アルミニウム接着接合研究部会、LPSO/MFS 構造材料研究部会、押出材組織に起因する欠陥検討部会の 1 年延長を承認。</p> <p>3. アルミニウム板圧延におけるセンシング技術研究部会、アルミニウム溶湯による耐火物の劣化因子研究部会の新設を承認。</p> <p>4. 2 月初旬決算見込み、予算提出。新部会</p>

		5. 長期ビジョン 6. 先行研究部会募集開始 7. 研究委員会引継事項 8. 研究部会中間報告	追加承認。 5. 修正版提示。生産技術系研究部会の提案 8 件の取扱い協議。 6. HP 会告、申込書を作成し募集開始。 7. 委員長案提示、4 月までに見直し。 8. 7 研究部会報告
--	--	---	---

(8)支部長会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第 4 回	4 年 6 月 17 日	1. 新支部長紹介 2. 令和 3 年度支部収支報告書および令和 4 年度支部収支予算書および第 1 四半期決算について 3. 中堅企業支援活動 4. 今後の大会開催予定 5. 年間表彰スケジュール 6. 長期ビジョン協議	1. 東海支部長交代。 2. 事務局より提示した資料確認。 3. 令和 3 年度実績報告と令和 4 年度活動要請。 4. 2024 年第 146 回春期大会の日程、予定地を確認。 5. 事務局提示資料を確認。 6. WEB を活用した支部事業共同開催、配信など追加。
第 5 回	4 年 11 月 13 日	1. 令和 4 年度支部第 2 四半期決算 2. 令和 5 年度支部費配賦額 3. 長期ビジョン 4. 今後の開催予定地 5. 軽金属希望の星賞・企業奨励賞について 6. 年間表彰スケジュール 7. 支部長交代	1. 事務局より提示した決算資料確認。 2. 配賦額案を確認。 3. 大会ハイブリッド開催対応協議。ロードマップ短期目標設定見直し。 4. 第 146 回春期大会(東海支部担当)を 2024 年 5 月 10-12 名古屋大学開催決定。 5. 支部推薦枠提示。希望の星賞支部長提出期限をポスター発表賞結果反映のため、秋期大会終了後に変更。 6. 2022 年度スケジュール連絡。 7. 3 支部交代予定。
第 6 回	5 年 2 月 28 日	1. 支部令和 4 年度決算見込み・令和 5 年度予算 2. 長期ビジョン 3. 引継事項 4. その他 ・支部長交代 ・支部活動期末報告・活動計画作成依頼 ・令和 5 年度支部長会日程 ・今後の春秋大会開催予定地・日程について	1. 資料確認と各支部報告。支部留保超過分の本部送金を検討。 2. 外部公開版作成検討。 3. 委員長案に支部共通枠利用事業検討追加。 4. 以下報告。 ・東北、関東支部交代。 ・3 月 15 日提出要請。 ・4 回開催の日程案提示。 ・148 回日程連絡要請。

(9)参与会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第 33 回	4 年 7 月 6 日 延期	1. 見学会の実施 2. 講演会の実施 3. 委員会の開催	1. IHI「つなぐラボ」、「IHI グループ横浜ラボ」 2. 「オープンイノベーション推進に関する事業紹介」 3. 参与会活動について
第 34 回	4 年 11 月 24 日	1. 見学会の実施 2. 講演会の実施 3. 委員会の開催	1. 大型放射光施設 SPring-8 2. 「SPring-8 の 3D/4D イメージング技術とその応用」、「SPring-8 放射光による軽金属材料の組織観察と機械的性質の解析」 3. 参与会活動について

(10)男女共同参画委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
第 4 回	4 年 4 月 11 日	1. 春秋大会男女共同参画セッション案	1. 下記の通り、テーマ・講師検討。

		①第 142 回春期大会 ②第 143 回秋期大会 2. 若手の会活動活性化・運営見直 3. 託児室規程改定(オンライン参加時) 4. 情報共有 5. 長期ビジョン検討	①田中俊之講師の男性学に決定。 ②「キャリア形成～継続により開ける未来」、東京工業大学 近藤科江 教授 2. 研究交流会、企業・研究室見学会を検討。 3. 在宅での大会参加時の託児利用補助を検討し、143 回秋期大会で試行。 4. 日本金属学会・日本鉄鋼協会男女共同参画 15 周年ミニシンポジウム参加報告。 5. 国の政策、学会のあるべき姿を取入れ、若手委員メンバーで再検討。リレーエッセイ企画。
第 5 回	4 年 7 月 20 日	1. 第 142 回春期大会実施報告 2. 第 143 回秋期大会実施計画 3. 女子中高生夏の学校 2022 対応 ・8 月 7 日 ポスターとキャリア相談 ・8 月 8 日 実験・実習 4. 若手の会活動活性化・運営見直し 5. 託児室規定改定(オンライン参加時) 6. 長期ビジョン検討 7. リレーエッセイ	1. 開催報告記事、アンケート結果報告。 2. 男女セッション「キャリア形成～継続により開ける未来」、若手の会見学会、一般参加受付方法協議。 3. 学会紹介内容確認 ・次回、ビデオ紹介に音声追加 ・8 月 5 日リハーサル、軽金属紹介 4. 大会前日、工場、研究室見学計画。 5. 在宅時の託児室利用補助を試行。アンケート結果ではハイブリッド開催要望。 6. WG 報告。20 年後女性会員比率 30%、中高生向け企画、家族向けイベント案検討。 7. 2023 年 1 月開始。年 4 回、会誌(半ページ)、HP 掲載。
第 6 回	4 年 10 月 5 日	1. 第 143 回秋期大会実施計画 2. 女子中高生夏の学校 3. リレーエッセイ 4. 第 144 回春期大会男女共同参画セッション 5. 長期ビジョン 6. 男女共同参画学協会連絡会	1. 男女共同参画セッション、若手の会、女性会員の会、託児室など実施方法決定。 2. 参加報告。 3. ダイバーシティテーマで 1 月号開催準備。執筆者順番決定。 4. テーマ:働き方改革、世話人決定。 5. 見直し案承認。 6. 2022 年シンポジウム 5 名 WEB 参加、活動報告掲載。女性比率調査項目追加アンケートに回答。
第 7 回	5 年 1 月 17 日	1. 第 143 回秋期大会開催報告 2. リレーエッセイ 3. 第 144 回春期大会実施計画 4. 長期ビジョン 5. 引継事項 6. その他	1. 男女共同参画セッション、若手の会、女性会員の会、託児室など開催報告、アンケート結果報告。 2. 1 月から開始、HP 掲載開始。4 月執筆者への依頼。 3. パネルディスカッションテーマ「働き方改革その後～子育て編～」、若手の会、女性会員の会のハイブリッド開催を計画。託児室現地設定、オンライン時も費用助成実施。 4. WG 継続し、総合計画委員会指摘対応を検討。 5. 委員長案に委員意見反映予定。 6. 2023 年夏の学校 8 月 5-7 日開催。金沢大学セミナー聴講報告。

(11)組織委員会

会議名	開催令和年月日	議事事項	会議の結果
令和 4 年度 第 1 回	4 年 10 月 28 日	1. 令和 5・6 年度役員候補に関する件	1. 次期理事候補、会長、副会長候補案を協議。
令和 4 年度 第 2 回	5 年 1 月 20 日	1. 令和 5・6 年度役員候補に関する件	1. 次期の役員候補および会長、副会長候補を選定、理事会に諮る。

[4]許可、認可、承認、証明に関する事項

連絡令和年月日	議事事項	履行状況
なし		

[5]契約に関する事項

契約締結令和年月日	契約内容	契約先・委託者
4年4月1日	アルミニウム接着接合研究部会研究受託契約	東京工業大学科学技術創成研究院 未来産業技術研究所教授 佐藤千明
4年12月26日	押出材組織に起因する欠陥検討部会受託研究契約	長岡技術科学大学工学研究院 准教授 本間智之
5年2月14日	押出材組織に起因する欠陥検討部会受託研究契約	日本大学機械工学科教授 星野倫彦

[6]寄付金に関する事項 寄付金支出はなし

[7]主務官庁からの連絡および報告事項

連絡令和年月日	議事事項	履行状況
なし		

[8]その他重要事項 特になし

[9]会員動向

() 内は内数

	名誉会員	永年会員	個人会員				合計
			正会員	学生会員	外国人	合計	
令和5年4月1日	47	88	1,319	260	(5)	1,579	1,714
令和4年4月1日	48	89	1,391	293	(6)	1,684	1,821
差引増減	△1	△1	△72	△33	1	△105	△107

正会員の内訳

	大学・高専等	公的研究機関	企業等	その他	合計
令和5年4月1日	427	80	782	30	1,319
令和4年4月1日	433	83	836	39	1,391
差引増減	△6	△3	△54	△9	△72

特別維持会員・維持会員・年間購読の内訳

	特別維持会員	維持会員	口数								年間購読	
			10	8	6	5	4	3	2	1		合計
令和5年4月1日	3	132	2	0	0	0	1	4	17	108	178	38
令和4年4月1日	4	133	2	0	0	0	1	3	16	111	176	40
差引増減	△1	△1	-	-	-	-	-	1	1	△3	2	△2

[10]事業報告の附属明細書 事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、附属明細書は作成していない。